

## I-27 第4次地震被害想定概要

(県危機政策課)

## 1 地震被害想定実施の経緯と目的

昭和51年(1976年)に東海地震説が発表されてから35年余が経過した。この間、本県では、東海地震対策を県政の最重要課題の一つとして位置づけ、積極的に地震対策に取り組んできた。

効果的な地震対策を実施するためには、地震によって引き起こされる地震動や津波などの自然の外力と、それらがもたらす被害の様相を事前に予測しておくことが必要不可欠となる。

そのため、本県では、社会環境の変化や地震災害に関する科学的な知見の蓄積などに応じて、昭和53年(1978年)、平成5年(1993年)、平成13年(2001年)の3回にわたり、地震被害想定を実施し、地震対策を効果的に進めるための基礎資料として活用してきた。

こうした中、平成23年3月11日に発生した、我が国地震観測史上最大となるマグニチュード9.0の巨大地震「東北地方太平洋沖地震」は、それまでの想定を大幅に上回る巨大な津波などにより、東日本の太平洋岸の広範な地域に甚大な被害をもたらした。岩手・宮城・福島の東北3県の沿岸部を中心に約2万人の尊い命を奪う大災害「東日本大震災」となった。この大震災は、津波対策のあり方はもとより、既往最大クラスの地震を想定対象としてきた地震被害想定のある方に対しても、新たな課題を提起するものとなった。

第4次地震被害想定(以下、「本想定」という。)では、これまで本県が地震被害想定の対象としてきた東海地震のように、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波を「レベル1の地震・津波」と位置付け、さらに、東日本大震災から得られた教訓として、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波を「レベル2の地震・津波」とし、二つのレベルの地震・津波を想定の対象とすることとした。

## 2 本想定の特徴

## (1) 二つのレベルの地震・津波を対象とする被害想定

本想定では表1に示すとおり、駿河トラフ・南海トラフ沿いと相模トラフ沿いのそれぞれで発生する二つのレベルの地震・津波を想定対象とした。

表1 想定の対象とした二つのレベルの地震・津波

区 分	内 容
レベル1の地震・津波	本県がこれまで地震被害想定の対象としてきた東海地震のように、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波
レベル2の地震・津波	内閣府(2012)により示された南海トラフ巨大地震のように、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波

## (2) 原子力災害との複合災害や富士山噴火との連続災害の想定

原子力災害との複合災害や富士山噴火が地震の前後に発生する連続災害の可能性も考慮した被害・対応シナリオ想定を行う。

## (3) 東日本大震災等の教訓や、社会環境の変化、最新の科学的知見の反映

東日本大震災や平成 16 年（2004 年）新潟県中越地震など第 3 次地震被害想定（静岡県(2001)）以降に発生した地震・津波災害の教訓や、社会環境の変化、最新の科学的知見の反映に努める。

## 3 地震被害想定の対象とする地震・津波

本想定において対象とした地震・津波の設定等に関する考え方は、表 2 のとおりである。

表 2 本想定の対象とした地震・津波

区 分	駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震	相模トラフ沿いで発生する地震
レベル 1 の地震・津波	東海地震 東海・東南海地震 東海・東南海・南海地震	大正型関東地震
レベル 2 の地震・津波	南海トラフ巨大地震	元禄型関東地震

## 4 地震被害想定的前提条件

本想定における前提条件は表 3 のとおりである。

表 3 被害想定における前提条件等

区分	前提条件等
建 物 数	約 142 万棟（うち住宅 約 118 万棟）
人 口	約 376.5 万人（平成 22 年国勢調査）
想 定 シ ーン	「冬・深夜」、「夏・昼」、「冬・夕方」
風 速	平均風速よりやや強い風（5m/秒）
地 震 予 知	駿河・南海トラフ沿いで発生する地震については、「予知なし」・「予知あり」
建物被害・人的被害	市町村単位で推計
津波避難行動	早期避難率の相違を考慮 津波避難ビルの活用を考慮

また、想定項目は主として次のとおりである。

- ・自然現象（地震動、液状化、山・崖崩れ、津波など）
- ・物的被害（建築物被害、火災、屋外転倒・落下物など）
- ・人的被害

- ・ライフライン被害
- ・交通施設被害
- ・生活支障（避難者、物資、医療機能、住機能、し尿・ごみ・瓦礫など）
- ・経済被害
- ・被害・対応シナリオ

## 5 想定結果の概要（駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波）

駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波による被害の想定結果は次のとおりである。

### （1）地震動

- 県内全域で大きな地震動が発生し、埋立地の他、海岸線や勾配の緩やかな河川に沿って広がる沖積平野の中の比較的地盤が軟弱な地域を中心に震度7～6強の強く大きな揺れとなる。この強く大きな揺れとなる地域には市街地が形成されているケースが多い。
- 山間部は比較的地盤が強固で、震度6弱～5弱となるケースが多い。

表4-1 レベル1の地震による震度区分別面積集計表（県計）  
東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震（注）

推定震度	7	6強	6弱	5強	5弱	4以下	合計
面積(k㎡)	345.7	2,045.5	3,215.8	1,806.5	295.4	0.0	7,709.0
割合 (%)	4.5	26.5	41.7	23.4	3.8	0.0	100.0

（注）内閣府(2012)の南海トラフ巨大地震の基本ケースの強震断層モデルを用いて計算したもの。

表4-2 レベル2の地震による震度区分別面積集計表（県計）  
南海トラフ巨大地震

推定震度	7	6強	6弱	5強	5弱	4以下	合計
（基本ケース）							
面積(k㎡)	345.7	2,045.5	3,215.8	1,806.5	295.4	0.0	7,709.0
割合 (%)	4.5	26.5	41.7	23.4	3.8	0.0	100.0
（陸側ケース）							
面積(k㎡)	725.6	1,293.3	3,406.3	1,981.6	302.1	0.0	7,709.0
割合 (%)	9.4	16.8	44.2	25.7	3.9	0.0	100.0
（東側ケース）							
面積(k㎡)	641.1	1,952.8	3,524.6	1,504.7	85.8	0.0	7,709.0
割合 (%)	8.3	25.3	45.7	19.5	1.1	0.0	100.0

## (2) 地盤の液状化

○液状化発生の可能性が高い（ランク大ないし中）地域は、基本、陸側、東側のいずれのケースも、県土面積の5%程度であり、ケースによる相違はあまり見られない。

表5-1 レベル1の地震による液状化可能性ランク別面積集計表（県計）  
東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震（注）

可能性ランク	大	中	小	なし	評価対象外	合計
面積(k m <sup>2</sup> )	178.8	214.8	106.1	205.6	7,003.8	7,709.0
割合(%)	2.3	2.8	1.4	2.7	90.9	100.0

（注）内閣府(2012)の南海トラフ巨大地震の基本ケースの強震断層モデルを用いて計算したもの。

※評価対象外：微地形区分において山地、山麓地、丘陵地、火山地、火山山麓地、火山性丘陵、岩石台地、ローム台地、砂礫質台地、礫・岩礁は液状化が発生しないとの判断から評価を行わない。また、推計震度が4以下の範囲も同様に評価しない。

表5-2 レベル2の地震による液状化可能性ランク別面積集計表（県計）  
南海トラフ巨大地震

可能性ランク	大	中	小	なし	評価対象外	合計
（基本ケース）						
面積(k m <sup>2</sup> )	178.8	214.8	106.1	205.6	7,003.8	7,709.0
割合(%)	2.3	2.8	1.4	2.7	90.9	100.0
（陸側ケース）						
面積(k m <sup>2</sup> )	161.1	207.2	121.2	215.6	7,003.9	7,709.0
割合(%)	2.1	2.7	1.6	2.8	90.9	100.0
（東側ケース）						
面積(k m <sup>2</sup> )	186.5	219.1	100.8	198.7	7,003.9	7,709.0
割合(%)	2.4	2.8	1.3	2.6	90.9	100.0

※評価対象外：微地形区分において山地、山麓地、丘陵地、火山地、火山山麓地、火山性丘陵、岩石台地、ローム台地、砂礫質台地、礫・岩礁は液状化が発生しないとの判断から評価を行わない。また、推計震度が4以下の範囲も同様に評価しない。

## (3) 津波

## ア 津波の高さ

- レベル1の地震による最大津波高は駿河湾内で3m～11m程度、遠州灘で5m～7m程度、伊豆半島南部で7m～9m程度、伊豆半島東部で2m～4m程度である。
- レベル2の地震による最大津波高は駿河湾内で3m～11m程度、遠州灘で6m～9m程度、伊豆半島南部で26m～33m程度、伊豆半島東部で5m～14m程度である。
- 地震に伴う海底地すべり等の局所的な現象により、今回示した津波の高さを越える津波が発生することもありうる。

## イ 津波の到達時間

- レベル1の地震による津波では、海岸分での水位上昇が50cmを越えるまでの時間は、駿河湾内で地震発生直後～数分程度、遠州灘で数分～10数分程度、伊豆半島南部の下田付近で10数分程度、伊豆半島東部の伊東・熱海で10数分～20数分程度である。
- レベル2の地震による津波では、海岸部での水位上昇が50cmを越えるまでの時間は、駿河湾内で地震発生直後～数分程度、遠州灘で数分程度、伊豆半島南部の下田付近で10数分程度、伊豆半島東部の伊東・熱海で10数分～20数分程度である。

## ウ 津波浸水域

レベル1、レベル2の津波による浸水深別浸水面積は、表6-1、表6-2のとおりである。

表6-1 レベル1の津波による浸水深別浸水面積（県計）

	浸水深1cm以上の面積(km <sup>2</sup> )		
		浸水深1m以上	浸水深2m以上
県内合計	28.6	15.2	9.0
県域に占める割合(%)	0.4	0.2	0.1

表6-2 レベル2の津波による浸水深別面積（県計）

	浸水深1cm以上の面積(km <sup>2</sup> )		
		浸水深1m以上	浸水深2m以上
(ケース①)			
県内合計	158.0	105.6	68.9
県域に占める割合(%)	2.0	1.4	0.9
(ケース⑥)			
県内合計	157.1	104.3	68.9
県域に占める割合(%)	2.0	1.3	0.9
(ケース⑧)			
県内合計	137.2	90.7	59.3
県域に占める割合(%)	1.8	1.2	0.8

## (4) 物的被害

駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波で想定される建物被害は以下のとおり。

## ア レベル1の地震・津波

表7-1 (東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

【棟】

項目	被害区分	予知なし			予知あり
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
地震動	全壊	約 171,000			約 171,000
	半壊	約 165,000	約 163,000	約 156,000	約 169,000
液状化	全壊	約 1,800			約 1,800
	半壊	約 6,400	約 6,300	約 6,100	約 6,500
人工造成地	全壊	約 17,000			約 17,000
	半壊	約 51,000	約 51,000	約 51,000	約 51,000
津波	全壊	約 2,400			約 2,400
	半壊	約 4,900	約 4,900	約 4,900	約 5,000
山・崖崩れ	全壊	約 2,500			約 2,500
	半壊	約 5,800	約 5,800	約 5,800	約 5,800
火災	焼失	約 22,000	約 28,000	約 66,000	約 2,500
建物棟数		1,418,505			
建物被害総数	全壊及び焼失	約 217,000	約 223,000	約 260,000	約 197,000
	半壊	約 233,000	約 232,000	約 224,000	約 237,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 15%	約 16%	約 18%	約 14%
	半壊	約 16%	約 16%	約 16%	約 17%
ブロック塀等転倒数		約 23,000 件			
屋外落下物が発生する建物数		約 47,000 棟			

「-」: 被害わずか 注) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

## イ レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）

表7-2 南海トラフ巨大地震 地震動：基本ケース、津波：ケース①

【棟】

項目	被害区分	予知なし			予知あり
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
地震動	全壊	約 171,000			約 171,000
	半壊	約 161,000	約 160,000	約 152,000	約 165,000
液状化	全壊	約 1,800			約 1,800
	半壊	約 5,900	約 5,800	約 5,600	約 6,000
人工造成地	全壊	約 17,000			約 17,000
	半壊	約 51,000	約 51,000	約 51,000	約 51,000
津波	全壊	約 28,000			約 28,000
	半壊	約 31,000	約 31,000	約 29,000	約 32,000
山・崖崩れ	全壊	約 2,500			約 2,500
	半壊	約 5,800	約 5,800	約 5,800	約 5,800
火災	焼失	約 22,000	約 27,000	約 64,000	約 2,500
建物棟数		1,418,505			
建物被害総数	全壊及び焼失	約 242,000	約 248,000	約 285,000	約 223,000
	半壊	約 255,000	約 253,000	約 244,000	約 260,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 17%	約 17%	約 20%	約 16%
	半壊	約 18%	約 18%	約 17%	約 18%
ブロック塀等転倒数		約 23,000 件			
屋外落下物が発生する建物数		約 47,000 棟			

「-」：被害わずか 注) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

表7-3 南海トラフ巨大地震 地震動：陸側ケース、津波：ケース①

【棟】

項目	被害区分	予知なし			予知あり
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
地震動	全壊	約 179,000			約 179,000
	半壊	約 122,000	約 121,000	約 117,000	約 123,000
液状化	全壊	約 1,600			約 1,600
	半壊	約 5,700	約 5,700	約 5,500	約 5,700
人工造成地	全壊	約 16,000			約 16,000
	半壊	約 47,000	約 47,000	約 47,000	約 47,000
津波	全壊	約 28,000			約 28,000
	半壊	約 35,000	約 35,000	約 34,000	約 35,000
山・崖崩れ	全壊	約 2,100			約 2,100
	半壊	約 5,000	約 5,000	約 5,000	約 5,000
火災	焼失	約 11,000	約 14,000	約 35,000	約 4,500
建物棟数		1,418,505			
建物被害総数	全壊及び焼失	約 238,000	約 240,000	約 262,000	約 231,000
	半壊	約 214,000	約 213,000	約 208,000	約 216,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 17%	約 17%	約 18%	約 16%
	半壊	約 15%	約 15%	約 15%	約 15%
ブロック塀等転倒数		約 20,000 件			
屋外落下物が発生する建物数		約 71,000 棟			

「-」：被害わずか 注) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

表 7-4 南海トラフ巨大地震 地震動：東側ケース、津波：ケース① 【棟】

項目	被害区分	予知なし			予知あり
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
地震動	全壊	約 191,000			約 191,000
	半壊	約 178,000	約 177,000	約 168,000	約 181,000
液状化	全壊	約 1,800			約 1,800
	半壊	約 5,900	約 5,800	約 5,600	約 6,000
人工造成地	全壊	約 17,000			約 17,000
	半壊	約 50,000	約 50,000	約 50,000	約 50,000
津波	全壊	約 26,000			約 26,000
	半壊	約 30,000	約 29,000	約 27,000	約 31,000
山・崖崩れ	全壊	約 2,700			約 2,700
	半壊	約 6,300	約 6,300	約 6,300	約 6,300
火災	焼失	約 19,000	約 24,000	約 66,000	約 2,200
建物棟数		1,418,505			
建物被害総数	全壊及び焼失	約 257,000	約 262,000	約 304,000	約 240,000
	半壊	約 270,000	約 268,000	約 257,000	約 274,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 18%	約 18%	約 21%	約 17%
	半壊	約 19%	約 19%	約 18%	約 19%
ブロック塀等転倒数		約 25,000 件			
屋外落下物が発生する建物数		約 58,000 棟			

「－」：被害わずか 注) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。



## (5) 人的被害

駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波で想定される人的被害は以下のとおり。

## ア レベル1の地震・津波

表8-1 東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

【人】

項目	被害区分	予知なし			予知あり			
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
建物倒壊 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	死者数	約 5,500 (約 700)	約 2,700 (約 500)	約 4,300 (約 500)	約 1,600 (約 100)	約 800 (約 100)	約 1,200 (約 100)	
	重傷者数	約 19,000 (約 2,600)	約 30,000 (約 2,100)	約 19,000 (約 1,600)	約 5,300 (約 600)	約 8,700 (約 400)	約 5,500 (約 400)	
	軽傷者数	約 49,000 (約 9,700)	約 52,000 (約 7,800)	約 42,000 (約 7,600)	約 14,000 (約 2,100)	約 15,000 (約 1,700)	約 12,000 (約 1,700)	
津波	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 7,400	約 2,500	約 3,200	約 1,000	約 700	約 800
		重傷者数	約 400	約 100	約 200	約 60	約 40	約 50
		軽傷者数	約 800	約 300	約 400	約 100	約 80	約 100
	早期避難率低	死者数	約 9,000	約 5,700	約 7,300	約 1,000	約 700	約 800
		重傷者数	約 500	約 400	約 400	約 60	約 40	約 50
		軽傷者数	約 1,000	約 700	約 900	約 100	約 80	約 100
山・崖崩れ	死者数	約 200	約 90	約 200	約 30	約 10	約 20	
	重傷者数	約 100	約 60	約 100	約 20	約 10	約 10	
	軽傷者数	約 100	約 60	約 100	約 20	約 10	約 10	
火災	死者数	約 800	約 500	約 2,100	約 30	約 10	約 20	
	重傷者数	約 600	約 600	約 1,400	約 20	約 50	約 50	
	軽傷者数	約 1,200	約 1,600	約 3,700	約 100	約 100	約 100	
ブロック塀の転倒、 屋外落下物	死者数	-	約 10	約 20	-	-	-	
	重傷者数	約 10	約 100	約 200	-	約 10	約 10	
	軽傷者数	約 10	約 200	約 400	-	約 10	約 20	
死傷者数 合計	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 14,000	約 5,900	約 9,900	約 2,700	約 1,500	約 2,100
		重傷者数	約 20,000	約 31,000	約 21,000	約 5,400	約 8,800	約 5,600
		軽傷者数	約 51,000	約 54,000	約 47,000	約 14,000	約 15,000	約 12,000
	早期避難率低	死者数	約 16,000	約 9,000	約 14,000	約 2,700	約 1,500	約 2,100
		重傷者数	約 20,000	約 31,000	約 21,000	約 5,400	約 8,800	約 5,600
		軽傷者数	約 51,000	約 54,000	約 47,000	約 14,000	約 15,000	約 12,000
自力脱出困難者数・ 要救助者数	地震動	約 32,000	約 27,000	約 29,000	約 9,100	約 7,900	約 8,300	
	津波	約 1,800	約 3,600	約 2,400	約 200	約 400	約 300	

「-」: 被害わずか (注) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

※夏・昼発災(予知なし)の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約2,200人(早期避難率高+呼びかけ)～約9,200人(早期避難率低)

※予知あり時における発災時の津波からの避難行動は、早期避難率低と同じとした。

## イ レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）

表8-2 南海トラフ巨大地震 地震動：基本ケース、津波：ケース①

【人】

項目	被害区分	予知なし			予知あり			
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
建物倒壊 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	死者数	約 5,500 (約 700)	約 2,700 (約 500)	約 4,300 (約 500)	約 1,600 (約 100)	約 800 (約 100)	約 1,200 (約 100)	
	重傷者数	約 19,000 (約 2,600)	約 30,000 (約 2,100)	約 19,000 (約 1,600)	約 5,300 (約 600)	約 8,700 (約 400)	約 5,500 (約 400)	
	軽傷者数	約 49,000 (約 9,700)	約 52,000 (約 7,800)	約 42,000 (約 7,600)	約 14,000 (約 2,100)	約 15,000 (約 1,700)	約 12,000 (約 1,700)	
津波	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 65,000	約 31,000	約 35,000	約 11,000	約 7,200	約 8,300
		重傷者数	約 2,300	約 900	約 1,100	約 500	約 300	約 300
		軽傷者数	約 4,500	約 1,800	約 2,000	約 900	約 600	約 600
	早期避難率低	死者数	約 95,000	約 62,000	約 72,000	約 11,000	約 7,200	約 8,300
		重傷者数	約 4,000	約 2,500	約 2,900	約 500	約 300	約 300
		軽傷者数	約 7,700	約 4,800	約 5,500	約 900	約 600	約 600
山・崖崩れ	死者数	約 200	約 90	約 200	約 30	約 10	約 20	
	重傷者数	約 100	約 60	約 100	約 20	約 10	約 10	
	軽傷者数	約 100	約 60	約 100	約 20	約 10	約 10	
火災	死者数	約 800	約 500	約 2,000	約 30	約 10	約 20	
	重傷者数	約 400	約 600	約 1,300	約 50	約 50	約 50	
	軽傷者数	約 1,100	約 1,500	約 3,500	約 100	約 100	約 100	
ブロック塀の転倒、 屋外落下物	死者数	-	約 10	約 20	-	-	-	
	重傷者数	約 10	約 100	約 200	-	約 10	約 10	
	軽傷者数	約 10	約 200	約 400	-	約 10	約 20	
死傷者数 合計	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 72,000	約 34,000	約 42,000	約 13,000	約 8,000	約 9,600
		重傷者数	約 21,000	約 32,000	約 22,000	約 5,900	約 9,000	約 5,900
		軽傷者数	約 55,000	約 55,000	約 48,000	約 15,000	約 16,000	約 13,000
	早期避難率低	死者数	約 102,000	約 65,000	約 78,000	約 13,000	約 8,000	約 9,600
		重傷者数	約 23,000	約 33,000	約 24,000	約 5,900	約 9,000	約 5,900
		軽傷者数	約 58,000	約 58,000	約 52,000	約 15,000	約 16,000	約 13,000
自力脱出困難者数・ 要救助者数	地震動	約 32,000	約 27,000	約 29,000	約 9,100	約 7,900	約 8,300	
	津波	約 23,000	約 33,000	約 26,000	約 2,700	約 3,800	約 3,000	

「-」：被害わずか 注) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

※夏・昼発災（予知なし）の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約 13,000 人（早期避難率高+呼びかけ）～約 29,000 人（早期避難率低）

※予知あり時における発災時の津波からの避難行動は、早期避難率低と同じとした。

表 8-3 南海トラフ巨大地震 地震動：陸側ケース、津波：ケース① 【人】

項目	被害区分	予知なし			予知あり			
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
建物倒壊 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	死者数	約 7,800 (約 700)	約 4,100 (約 500)	約 6,200 (約 600)	約 2,200 (約 200)	約 1,200 (約 100)	約 1,800 (約 100)	
	重傷者数	約 19,000 (約 2,500)	約 35,000 (約 2,100)	約 21,000 (約 1,700)	約 5,600 (約 500)	約 10,000 (約 500)	約 6,100 (約 400)	
	軽傷者数	約 42,000 (約 9,700)	約 52,000 (約 7,800)	約 38,000 (約 7,600)	約 12,000 (約 2,100)	約 15,000 (約 1,700)	約 11,000 (約 1,700)	
津波	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 66,000	約 31,000	約 36,000	約 11,000	約 7,200	約 8,400
		重傷者数	約 2,300	約 900	約 1,100	約 500	約 300	約 300
		軽傷者数	約 4,500	約 1,800	約 2,100	約 900	約 600	約 600
	早期避難率低	死者数	約 96,000	約 62,000	約 72,000	約 11,000	約 7,200	約 8,400
		重傷者数	約 4,000	約 2,500	約 2,900	約 500	約 300	約 300
		軽傷者数	約 7,700	約 4,800	約 5,500	約 900	約 600	約 600
山・崖崩れ	死者数	約 200	約 80	約 100	約 20	約 10	約 20	
	重傷者数	約 100	約 50	約 90	約 10	約 10	約 10	
	軽傷者数	約 100	約 50	約 90	約 10	約 10	約 10	
火災	死者数	約 1,500	約 1,000	約 3,300	約 200	約 100	約 100	
	重傷者数	約 300	約 400	約 900	約 100	約 100	約 100	
	軽傷者数	約 700	約 900	約 2,200	約 300	約 300	約 300	
ブロック塀の転倒、 屋外落下物	死者数	-	約 10	約 10	-	-	-	
	重傷者数	-	約 70	約 100	-	-	約 10	
	軽傷者数	約 10	約 200	約 300	-	約 10	約 20	
死傷者数 合計	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 75,000	約 36,000	約 46,000	約 14,000	約 8,500	約 10,000
		重傷者数	約 22,000	約 36,000	約 23,000	約 6,200	約 11,000	約 6,600
		軽傷者数	約 47,000	約 55,000	約 43,000	約 13,000	約 16,000	約 12,000
	早期避難率低	死者数	約 105,000	約 67,000	約 82,000	約 14,000	約 8,500	約 10,000
		重傷者数	約 24,000	約 38,000	約 25,000	約 6,200	約 11,000	約 6,600
		軽傷者数	約 50,000	約 58,000	約 46,000	約 13,000	約 16,000	約 12,000
自力脱出困難者数・ 要救助者数	地震動	約 50,000	約 49,000	約 48,000	約 14,000	約 14,000	約 14,000	
	津波	約 23,000	約 33,000	約 26,000	約 2,700	約 3,800	約 3,000	

「-」：被害わずか 注) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

※夏・昼発災(予知なし)の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約 13,000 人(早期避難率高+呼びかけ)～約 29,000 人(早期避難率低)

※予知あり時における発災時の津波からの避難行動は、早期避難率低と同じとした。

表 8-4 南海トラフ巨大地震 地震動：東側ケース、津波：ケース①

【人】

項目	被害区分	予知なし			予知あり			
		冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	
建物倒壊 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)	死者数	約 6,000 (約 700)	約 3,000 (約 500)	約 4,700 (約 500)	約 1,700 (約 200)	約 900 (約 100)	約 1,400 (約 100)	
	重傷者数	約 21,000 (約 2,700)	約 34,000 (約 2,200)	約 21,000 (約 1,700)	約 5,900 (約 600)	約 9,700 (約 500)	約 6,100 (約 400)	
	軽傷者数	約 53,000 (約 10,000)	約 55,000 (約 8,300)	約 45,000 (約 8,100)	約 15,000 (約 2,200)	約 16,000 (約 1,800)	約 13,000 (約 1,800)	
津波	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 65,000	約 31,000	約 36,000	約 11,000	約 7,200	約 8,300
		重傷者数	約 2,300	約 900	約 1,100	約 500	約 300	約 300
		軽傷者数	約 4,500	約 1,800	約 2,100	約 900	約 600	約 600
	早期避難率低	死者数	約 95,000	約 62,000	約 72,000	約 11,000	約 7,200	約 8,300
		重傷者数	約 4,000	約 2,500	約 2,900	約 500	約 300	約 300
		軽傷者数	約 7,700	約 4,800	約 5,500	約 900	約 600	約 600
山・崖崩れ	死者数	約 200	約 100	約 200	約 30	約 10	約 20	
	重傷者数	約 200	約 60	約 100	約 20	約 10	約 10	
	軽傷者数	約 200	約 60	約 100	約 20	約 10	約 10	
火災	死者数	約 600	約 400	約 1,600	約 40	約 20	約 30	
	重傷者数	約 400	約 500	約 1,300	約 50	約 50	約 50	
	軽傷者数	約 900	約 1,300	約 3,400	約 100	約 100	約 100	
ブロック塀の転倒、 屋外落下物	死者数	-	約 10	約 20	-	-	-	
	重傷者数	約 10	約 100	約 200	-	約 10	約 10	
	軽傷者数	約 20	約 200	約 400	-	約 10	約 20	
死傷者数合計	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 72,000	約 34,000	約 42,000	約 13,000	約 8,100	約 9,700
		重傷者数	約 23,000	約 35,000	約 24,000	約 6,400	約 10,000	約 6,500
		軽傷者数	約 58,000	約 59,000	約 51,000	約 16,000	約 17,000	約 14,000
	早期避難率低	死者数	約 102,000	約 65,000	約 78,000	約 13,000	約 8,100	約 9,700
		重傷者数	約 25,000	約 37,000	約 26,000	約 6,400	約 10,000	約 6,500
		軽傷者数	約 62,000	約 62,000	約 55,000	約 16,000	約 17,000	約 14,000
自力脱出困難者数・ 要救助者数	地震動	約 33,000	約 29,000	約 30,000	約 9,500	約 8,400	約 8,800	
	津波	約 23,000	約 33,000	約 26,000	約 2,700	約 3,800	約 3,000	

「-」：被害わずか 注）端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

※夏・昼発災（予知なし）の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約 13,000 人（早期避難率高+呼びかけ）～約 30,000 人（早期避難率低）

※予知あり時における発災時の津波からの避難行動は、早期避難率低と同じとした。

## (6) ライフライン機能支障

駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波で想定されるライフラインの機能支障は以下のとおり。

## ア 上水道

表 9-1 上水道機能支障&lt;断水率・断水人口&gt;

区分	給水人口 (千人)	断水率 (%)				断水人口 (千人)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約3,716	96	93	58	2	約3,584	約3,462	約2,144	約63
レベル2 (基本ケース)		96	93	58	7	約3,584	約3,464	約2,159	約250

## イ 下水道

表 9-2 下水道機能支障&lt;機能支障率・機能支障人口&gt;

区分	処理人口 (千人)	機能支障率 (%)				機能支障人口 (千人)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約2,236	12	53	7	0	約257	約1,176	約153	約9.6
レベル2 (基本ケース)		51	67	43	6	約1,143	約1,502	約969	約143

## ウ 電力

表 9-3 電力機能支障&lt;停電率・停電軒数&gt;

区分	需要家数 (千軒)	停電率 (%)				停電軒数 (千軒)			
		直後	1日後	4日後	1週間後	直後	1日後	4日後	1週間後
レベル1	約2,247	89	79	6	3	約1,996	約1,786	約129	約77
レベル2 (基本ケース)		89	80	8	5	約2,001	約1,795	約173	約122

## エ 通信

表 9-4 固定電話機能支障&lt;不通回線率・不通回線数&gt;

区分	回線数 (千回線)	不通回線率 (%)				不通回線数 (千回線)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約833	90	81	6	1	約748	約677	約54	約4.7
レベル2 (基本ケース)		90	82	12	6	約752	約683	約101	約50

表 9-5 携帯電話機能支障&lt;停波基地局数、不通ランク&gt;

区分	停波基地局率 (%)				不通ランク			
	直後	1日後	4日後	1週間後	直後	1日後	4日後	1週間後
レベル1	7	81	11	7	—	A	—	—
レベル2 (基本ケース)	11	82	16	12	—	A	—	—

※ 不通ランク 「A」: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が50%を超える。  
「B」: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が40%を超える。  
「C」: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が30%を超える。  
「—」: 上記ランクA、B、Cのいずれにも該当しない。

## オ ガス

表 9-6 都市ガス機能支障&lt;供給停止率、供給停止戸数&gt;

区 分	需要家数 (千戸)	供給停止 戸数(千戸)	供給停止率 (%)	復旧対象戸数 (千戸)
レベル1	約494	約380	77	約189
レベル2 (基本ケース)	約494	約391	79	約180

表 9-7 LPガス機能支障&lt;機能支障率、要点検需要家数&gt;

区 分	需要家数 (千戸)	機能支障率 (%)	要 点 検 需要家数(千戸)
レベル1	約855	32	約271
レベル2 (基本ケース)		35	約298

表 9-8 ライフライン復旧予測

	施設応急復旧日数(95%復旧)		備 考
	レベル1	レベル2 (基本ケース)	
上水道	4週間程度	5週間程度	津波により被災した需要家は復旧対象から除外している
下水道	2週間程度	5週間程度	
電力	1週間程度	1週間程度	
固定電話	1週間程度	1週間程度	
携帯電話	1週間程度	2週間程度	
都市ガス	4週間程度	4週間程度	家屋被害の著しい需要家は復旧対象から除外している

## (7) 交通機能支障

## ア 道路施設(緊急輸送路)

## ①高速道路

- ・一部区間で液状化・津波浸水による軽微な被害が発生する。富士川河口断層帯が活動した場合、道路構造物の被害が発生する。
- ・一般車両の誘導、放置車両の排除、応急復旧等車線の確保に1~3日程度要する。

## ②東西幹線道路

- ・橋梁損傷、建物の道路閉塞、津波浸水、山・崖崩れ等の影響で不通となる区間が発生する。

## ③その他道路

- ・地震動による橋梁損傷、倒壊建物による道路閉塞、津波の影響のため不通となる区間が発生する。

## イ 鉄道施設

- ・新幹線では大きな施設被害は発生しないが、点検・補修のため一時運行を停止することがある。
- ・在来線、私鉄線では地震動による鉄道構造物の被害、津波の浸水等により運行に支障が生じる。
- ・富士川河口断層帯が活動した場合、鉄道施設の被害が発生する。

## ウ 港湾・漁港施設

- ・港湾施設被害、船舶やコンテナの被害、航路障害等の被害が発生する。また海底地盤が隆起する地域では、水深が不足することがある。
- ・発災初期は津波の危険及び復旧対応・航路啓開のため港湾が利用できないことが考えられる。

## エ 飛行場、ヘリポート

## ①静岡空港

- ・震度6強の大きな揺れが発生するが、長期にわたり離着陸に影響を及ぼすような大きな被害は発生しない。

## ②その他の主な飛行場・ヘリポート

- ・一部の防災拠点ヘリポートや市町防災ヘリポートでは震度6強以上の強い揺れを受ける可能性や津波が浸水するおそれがあるほか、離着陸場内に住民等が避難していたり、アクセス道路に被害が生じたりすること等により、輸送機能に支障が生じる可能性がある。

## (8) 生活支障

駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波で想定される生活支障は以下のとおり。

## ア 避難者

表10-1 避難者数（発災～1ヶ月後）【人】

区 分	1日後			1週間後			1ヶ月後		
	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外
レベル1	833,766	502,134	331,632	1,221,752	613,963	607,789	836,665	250,999	585,665
レベル2 (基本ケース)	1,047,006	645,499	401,507	1,272,015	680,321	591,694	1,011,714	303,514	708,200

## イ 物資不足

表10-2 給水、食料、毛布の不足量（市町備蓄のみで対応した場合）

区 分		住 民 分		観光・出張客分を考慮した場合
		1～3日目の計	4～7日目の計	1～3日目の計
レベル1	給水(トン)	3,052	164,171	3,581
	食料(食)	2,394,077	6,092,927	3,237,801
	毛布(枚)	565,248		808,654
レベル2 (基本ケース)	給水(トン)	3,156	164,426	3,685
	食料(食)	2,887,823	7,470,152	3,774,106
	毛布(枚)	627,779		878,562

※家庭内備蓄を考慮して算出

## ウ 医療機能支障

表 10-3 医療対応力不足数【人】

区 分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
レベル1	約30,000	約21,000
レベル2 (基本ケース)	約37,000	約25,000

## エ 住機能（応急仮設住宅）

表 10-4 中期的住機能支障（発災後約1ヶ月～2年間）【世帯】

区 分	応急仮設住宅等の需要 ※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅の一時使用
レベル1	37,924 (59,212)	60,042 (60,044)	6,420 (6,420)
レベル2 (基本ケース)	43,636 (67,680)	60,044 (60,044)	6,420 (6,420)

※ アンケート結果に基づく推計（借り上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限を考慮）

※ 上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

表 10-5 長期的住機能障害（発災後約2年～数年以降）【世帯】

区 分	災害公営住宅の需要 ※			
	計	全壊世帯の需要	半壊世帯の需要	
			うち年収400万円未満	
レベル1	85,386	61,725	38,105	23,662
レベル2 (基本ケース)	92,202	66,183	41,371	26,019

## オ し尿・ごみ・がれき

表 10-6 仮設トイレ不足量【基（仮設トイレ基数換算）】

区 分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
レベル1	3,123	2,710
レベル2 (基本ケース)	4,429	4,257



表 10-7 災害廃棄物、津波堆積物 【千トン】

区 分	合 計	災害廃棄物	津波堆積物
レベル1	30,786~31,675	29,995	791~1,680
レベル2 (基本ケース)	36,883~41,767	32,536	4,347~9,231

表 10-8 一般廃棄物（生活ごみ） 【トン/月】

区 分	発災～3ヶ月後	3ヶ月後～半年後	半年後～1年後
家庭ごみ	95,000	94,000	94,000
粗大ごみ	20,000	9,500	7,200

## (9) 経済被害

駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波で想定される経済被害は表 11 のとおり。

表 11 経済被害

単位：兆円

区 分		直接的被害	間接的被害	
予 知 な し	レベル1	20.30	3.90	
	レベル2	基本ケース	22.63	5.34
		陸側ケース	21.35	6.81
		東側ケース	23.76	5.46
予 知 あ り	レベル1	17.39	2.93	
	レベル2	基本ケース	19.85	3.20
		陸側ケース	20.01	4.31
		東側ケース	20.90	4.30

## 6 想定結果の概要（相模トラフ沿いで発生する地震・津波）

相模トラフ沿いで発生する地震・津波による被害の想定結果は次のとおりである。

## (1) 地震動

- 富士川より東側を中心に大きな地震動が発生し、震源に近い箱根西麓を中心に震度7～6強の強く大きな揺れとなる。
- 富士川より西側の地域や伊豆半島の南端部では、震度5弱以下となるケースが多い。

表 12-1 レベル1の地震による震度区分別面積集計表（県計）

## 大正型関東地震

推定震度	7	6強	6弱	5強	5弱	4以下	合計
面積(k㎡)	42.4	347.6	755.5	744.9	1,055.3	4,763.3	7,709.0
割合(%)	0.5	4.5	9.8	9.7	13.7	61.8	100.0

表 1 2 - 2 レベル 2 の地震による震度区分別面積集計表 (県計)  
元禄型関東地震

推定震度	7	6 強	6 弱	5 強	5 弱	4 以下	合計
面積(k m <sup>2</sup> )	110.2	454.0	878.3	693.0	1,046.5	4,526.9	7,709.0
割合 (%)	1.4	5.9	11.4	9.0	13.6	58.7	100.0

### (2) 地盤の液状化

○液状化発生の可能性が高い(ランク大ないし中)地域は、駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震に比べ、地震動自体があまり大きくないことから、かなり狭く、県土面積の1%以下である。

表 1 3 - 1 レベル 1 の地震による液状化可能性ランク別面積集計表 (県計)  
大正型関東地震

可能性ランク	大	中	小	なし	評価対象外	合計
面積(k m <sup>2</sup> )	16.3	29.2	51.6	128.7	7,483.1	7,709.0
割合 (%)	0.2	0.4	0.7	1.7	97.1	100.0

表 1 3 - 2 レベル 2 の地震による液状化可能性ランク別面積集計表 (県計)  
元禄型関東地震

可能性ランク	大	中	小	なし	評価対象外	合計
面積(k m <sup>2</sup> )	20.9	36.5	64.3	145.2	7,442.1	7,709.0
割合 (%)	0.3	0.5	0.8	1.9	96.5	100.0

### (3) 津波

#### ア 津波の高さ

- レベル 1 の地震による最大津波高さは伊豆半島東部で 4 m ~ 7 m 程度、伊豆半島南部で 4 m ~ 5 m 程度、駿河湾内で 2 m ~ 3 m 程度、遠州灘で 1 m ~ 2 m 程度である。
- レベル 2 の地震による最大津波高さは伊豆半島東部で 6 m ~ 9 m 程度、伊豆半島南部で 9 m ~ 10 m 程度、駿河湾内で 3 m ~ 5 m 程度、遠州灘で 3 m ~ 6 m 程度である。

#### イ 津波の到達時間

- レベル 1 の地震による津波では、海岸での水位上昇が 50cm を越えるまでの時間は、伊豆半島東部の伊東・熱海で数分~10 分程度、伊豆半島南部の下田あたりで 10 分程度、駿河湾内で地震発生直 30~40 分程度、遠州灘で 40 分以上である。
- レベル 2 の地震による津波では、海岸での水位上昇が 50cm を越えるまでの時間は、レベル 1 の地震による津波とほぼ同等であるが、やや早く到達する傾向がある。

#### ウ 津波浸水域

- レベル 1、レベル 2 の津波による浸水深別浸水面積は、表 1 4 - 1、表 1 4 - 2 のとおりである。

表 1 4 - 1 レベル 1 の津波による浸水深別浸水面積 (県計)  
大正型関東地震

	浸水深 1cm 以上の面積(km <sup>2</sup> )		
	浸水深 1m 以上	浸水深 2m 以上	
県内合計	7.3	2.6	1.2
県域に占める割合 (%)	0.1	0.1 未満	0.1 未満

表 14-2 レベル 2 の津波による浸水深別浸水面積（県計）  
元禄型関東地震

	浸水深 1cm 以上の面積(km <sup>2</sup> )		
	浸水深 1m 以上	浸水深 2m 以上	
県内合計	22.3	10.0	4.7
県域に占める割合(%)	0.3	0.1	0.1

## (4) 建物被害

相模トラフ沿いで発生する地震・津波で想定される建物被害は次のとおり。

## ア レベル 1 の地震・津波（大正型関東地震）

表 15-1 大正型関東地震 【棟】

項目	被害区分	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	約 10,000		
	半壊	約 27,000	約 27,000	約 26,000
液状化	全壊	約 800		
	半壊	約 3,100	約 3,100	約 3,100
人工造成地	全壊	約 40		
	半壊	約 100	約 100	約 100
津波	全壊	約 900		
	半壊	約 2,300	約 2,300	約 2,300
山・崖崩れ	全壊	約 500		
	半壊	約 1,100	約 1,100	約 1,100
火災	焼失	約 200	約 300	約 1,600
建物棟数		1,418,505		
建物被害総数	全壊及び焼失	約 13,000	約 13,000	約 14,000
	半壊	約 33,000	約 33,000	約 33,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 1%	約 1%	約 1%
	半壊	約 2%	約 2%	約 2%
ブロック塀等転倒数		約 2,500 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 1,900 棟		

「－」：被害わずか 注) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

## イ レベル2の地震・津波

表 15-2 元禄型関東地震 【棟】

項目	被害区分	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	約 19,000		
	半壊	約 40,000	約 39,000	約 39,000
液状化	全壊	約 1,000		
	半壊	約 3,700	約 3,700	約 3,700
人工造成地	全壊	約 80		
	半壊	約 300	約 300	約 300
津波	全壊	約 2,400		
	半壊	約 6,300	約 6,300	約 6,200
山・崖崩れ	全壊	約 600		
	半壊	約 1,400	約 1,400	約 1,400
火災	焼失	約 400	約 600	約 3,700
建物棟数		1,418,505		
建物被害総数	全壊及び焼失	約 23,000	約 24,000	約 27,000
	半壊	約 51,000	約 51,000	約 50,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 2%	約 2%	約 2%
	半壊	約 4%	約 4%	約 4%
ブロック塀等転倒数		約 3,600 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 4,000 棟		

「一」：被害わずか 注) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

## (5) 人的被害

相模トラフ沿いで発生する地震・津波で想定される人的被害は次のとおりである。

## ア レベル1の地震・津波

表 16-1 大正型関東地震 【人】

項目		被害区分	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)		死者数	約 100 (約 40)	約 50 (約 20)	約 90 (約 30)
		重傷者数	約 1,100 (約 200)	約 1,400 (約 100)	約 1,000 (約 100)
		軽傷者数	約 5,100 (約 800)	約 4,600 (約 700)	約 4,200 (約 600)
津波	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 2,300	約 600	約 900
		重傷者数	約 100	約 50	約 70
		軽傷者数	約 200	約 100	約 100
	早期避難率低	死者数	約 2,900	約 1,700	約 2,400
		重傷者数	約 200	約 100	約 200
		軽傷者数	約 400	約 300	約 400
山・崖崩れ		死者数	約 40	約 20	約 30
		重傷者数	約 30	約 10	約 20
		軽傷者数	約 30	約 10	約 20
火災		死者数	-	-	約 10
		重傷者数	-	約 10	約 30
		軽傷者数	約 10	約 10	約 70
ブロック塀の転倒、 屋外落下物		死者数	-	-	-
		重傷者数	-	約 20	約 30
		軽傷者数	-	約 30	約 50
死傷者 数合計	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 2,500	約 700	約 1,000
		重傷者数	約 1,200	約 1,500	約 1,200
		軽傷者数	約 5,400	約 4,700	約 4,500
	早期避難率低	死者数	約 3,000	約 1,800	約 2,500
		重傷者数	約 1,300	約 1,600	約 1,300
		軽傷者数	約 5,600	約 4,900	約 4,700
自力脱出困難者数・ 要救助者数		地震動	約 600	約 400	約 500
		津波	約 900	約 1,800	約 1,200

「-」: 被害わずか

注) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

※夏・昼発災の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約 1,600 人 (早期避難率高+呼びかけ) ~ 約 4,600 人 (早期避難率低)

## イ レベル2の地震・津波（元禄型関東巨大地震）

表 16-2 元禄型関東地震 【人】

項目		被害区分	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
建物倒壊 (うち屋内転倒物・ 屋内落下物)		死者数	約 200 (約 70)	約 100 (約 40)	約 200 (約 50)
		重傷者数	約 1,900 (約 300)	約 2,300 (約 200)	約 1,800 (約 200)
		軽傷者数	約 7,900 (約 1,300)	約 6,600 (約 1,000)	約 4,900 (約 1,000)
津波	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 4,700	約 1,400	約 1,900
		重傷者数	約 100	約 60	約 70
		軽傷者数	約 300	約 100	約 100
	早期避難率低	死者数	約 5,700	約 3,500	約 4,700
		重傷者数	約 300	約 200	約 300
		軽傷者数	約 500	約 400	約 500
山・崖崩れ		死者数	約 50	約 20	約 40
		重傷者数	約 30	約 10	約 20
		軽傷者数	約 30	約 10	約 20
火災		死者数	約 10	-	約 20
		重傷者数	-	約 10	約 60
		軽傷者数	約 20	約 30	約 200
ブロック塀の転倒、 屋外落下物		死者数	-	-	-
		重傷者数	-	約 30	約 40
		軽傷者数	-	約 40	約 90
死傷者 数 合 計	早期避難率高 +呼びかけ	死者数	約 5,000	約 1,500	約 2,100
		重傷者数	約 2,100	約 2,400	約 2,000
		軽傷者数	約 8,300	約 6,800	約 5,300
	早期避難率低	死者数	約 6,000	約 3,600	約 4,900
		重傷者数	約 2,200	約 2,600	約 2,200
		軽傷者数	約 8,500	約 7,200	約 5,700
自力脱出困難者数・ 要救助者数		地震動	約 1,100	約 800	約 1,000
		津波	約 2,300	約 5,100	約 3,200

「-」：被害わずか

注) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

※夏・昼発災の場合、海水浴客の津波による死者数の増分は、約 2,400 人（早期避難率高+呼びかけ）～約 6,500 人（早期避難率低）

## (6) ライフライン被害

相模トラフ沿いで発生する地震・津波で想定されるライフライン被害は次のとおりである。

## ア 上水道

表 17-1 上水道機能支障&lt;断水率・断水人口&gt;

区分	給水人口 (千人)	断水率 (%)				断水人口(千人)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約3,716	21	9	6	0	約793	約337	約207	—
レベル2		25	13	8	0	約923	約477	約295	—

## イ 下水道

表 17-2 下水道機能支障&lt;機能支障率・機能支障人口&gt;

区分	処理人口 (千人)	機能支障率 (%)				機能支障人口(千人)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約2,236	2	2	1	0	約53	約43	約26	約3.3
レベル2		12	12	10	1	約271	約262	約215	約32

## ウ 電力

表 17-3 電力機能支障&lt;停電率・停電軒数&gt;

区分	需要家数 (千軒)	停電率 (%)				停電軒数(千軒)			
		直後	1日後	4日後	1週間後	直後	1日後	4日後	1週間後
レベル1	約2,247	33	5	0	0	約735	約117	約4.9	約4.9
レベル2		33	5	0	0	約736	約122	約9.3	約9.3

## エ 通信

表 17-4 固定電話機能支障&lt;不通回線率・不通回線数&gt;

区分	回線数 (千回線)	不通回線率 (%)				不通回線数(千回線)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約833	34	6	0	0	約279	約48	約3.5	約3.1
レベル2		34	6	1	1	約280	約53	約7.5	約6.6

表 17-5 携帯電話機能支障&lt;停波基地局数、不通ランク&gt;

区分	停波基地局率 (%)				不通ランク			
	直後	1日後	4日後	1週間後	直後	1日後	4日後	1週間後
レベル1	0	6	0	0	—	—	—	—
レベル2	1	6	1	1	—	—	—	—

※ 不通ランク 「A」: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が50%を超える。

「B」: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が40%を超える。

「C」: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が30%を超える。

「—」: 上記ランクA、B、Cのいずれにも該当しない。

## オ ガス

表 17-6 都市ガス機能支障&lt;供給停止率、供給停止戸数&gt;

区分	需要家数 (千戸)	供給停止 戸数(千戸)	供給停止率 (%)	復旧対象戸数 (千戸)
レベル1	約494	約19	4	約12
レベル2		約61	12	約28

表 17-7 LP ガス機能支障&lt;機能支障率、要点検需要家数&gt;

区分	需要家数 (千戸)	機能支障率 (%)	要点検需要家数 (千戸)
レベル1	約855	4	約32
レベル2		6	約52

表 17-8 ライフライン復旧予測

	施設応急復旧日数(95%復旧)		備 考
	レベル1	レベル2 (基本ケース)	
上水道	1週間程度	2週間程度	津波により被災した需要家は復旧対象から除外している
下水道	数日間程度	3週間程度	
電力	数日間程度	数日間程度	
固定電話	数日間程度	数日間程度	
携帯電話	数日間程度	数日間程度	
都市ガス	数日間程度	1週間程度	家屋被害の著しい需要家は復旧対象から除外している

## (7) 交通機能支障

## ア 道路施設(緊急輸送路)

## ①高速道路

- 一部区間で液状化や津波浸水による軽微な被害が発生する。

## ②東西幹線道路

- 橋梁損傷、建物の道路閉塞、津波浸水、山・崖崩れ等の影響で不通となる区間が発生する。

## ③その他道路

- 地震動による橋梁損傷、倒壊建物による道路閉塞、津波の影響のため不通となる区間が発生する。

## イ 鉄道施設

- 新幹線では大きな施設被害は発生しないが、点検・補修のため一時運行を停止することがある。
- 在来線、私鉄線では地震動による鉄道構造物の被害、津波の浸水等により運行に支障が生じる。

## ウ 港湾・漁港施設

- 港湾施設被害、船舶やコンテナの被害、航路障害等の被害が発生する。また海底地盤が隆



起する地域では、水深が不足することがある。

- ・発災初期は津波の危険及び復旧対応・航路啓開のため港湾が利用できないことが考えられる。

## エ 飛行場・ヘリポート

### ①静岡空港

- ・震度は4程度であり、被害は発生しないが、安全確保のため空港を閉鎖する。

### ②その他の主な飛行場・ヘリポート

- ・ごく一部の防災拠点ヘリポートや市町防災ヘリポートで震度6強以上の強い揺れを受ける可能性や津波が浸水するおそれがあるほか、離着陸場内に住民等が避難していたり、アクセス道路に被害が生じたりすること等により、輸送機能に支障が生じる可能性がある。

## (8) 生活支障

相模トラフ沿いで発生する地震・津波で想定される生活支障は次のとおりである。

### ア 避難者

表18-1 避難者数（発災～1ヶ月後）【人】

区分	1日後			1週間後			1ヵ月後		
	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外
レベル1	56,964	34,848	22,116	96,146	48,387	47,760	47,457	14,237	33,220
レベル2	111,648	69,015	42,633	150,590	76,234	74,356	82,914	24,874	58,039

### イ 物資不足

表18-2 給水、食料、毛布の不足量（市町備蓄のみで対応した場合）

区 分		住 民 分		観光・出張客分を考慮した場合
		1～3日目の計	1～3日目の計	4～7日目の計
レベル1	給水(トン)	262	12,611	391
	食料(食)	63,327	341,168	540,359
	毛布(枚)	24,663		99,261
レベル2	給水(トン)	363	19,324	492
	食料(食)	182,754	632,651	686,164
	毛布(枚)	36,292		126,595

※ 家庭内備蓄を考慮して算出している。

### ウ 医療機能支障

表18-3 医療対応力不足数【人】

区 分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
レベル1	—	—
レベル2	—	—

※ 市町単位では医療対応力不足数が算出されているが、県内の他市町に搬送して対応できるため、県計としては不足数が算出されていない。

## エ 住機能（応急仮設住宅等）

表 18-4 中期的住機能支障（発災後約1ヶ月～2年間）&gt;【世帯】

区 分	応急仮設住宅等の需要 ※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅の一時使用
レベル1	1,801 (2,938)	2,483 (4,413)	1,058 (1,812)
レベル2	3,328 (5,033)	4,588 (7,484)	1,956 (3,086)

※ アンケート結果に基づく推計（借り上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限を考慮）

※ 上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

表 18-5 長期的住機能障害（発災後約2年～数年以降）【世帯】

区 分	災害公営住宅の需要 ※			
	計	全壊世帯の需要	半壊世帯の需要	
			うち年収400万円未満	
レベル1	6,550	3,217	2,130	3,332
レベル2	10,940	5,946	4,046	4,994

※ アンケート結果に基づく推計

## オ し尿・ごみ・がれき

表 18-6 仮設トイレ不足量【基（仮設トイレ基数換算）】

区 分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
レベル1	17	0
レベル2	76	52

表 18-7 災害廃棄物、津波堆積物 【千トン】

区 分	合 計	災害廃棄物	津波堆積物
レベル1	1,672～1,900	1,469	203～ 431
レベル2	3,316～3,968	2,736	580～1,232

## (9) 経済被害

相模トラフ沿いで発生する地震・津波で想定される経済被害は表19のとおりである。

表 19 経済被害 単位：兆円

区 分	直接的被害	間接的被害
レベル1	1.65	0.145
レベル2	2.70	0.257

## I - 28 市町別地震被害想定結果一覧表

(県危機政策課)

表 20-1 震度区分別面積集計表(東海・東南海・南海地震)

市町村名	震度区分別の面積						面積の合計	
	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4以下		
県計	345.7	2045.5	3215.8	1806.5	295.4	0.0	7709.0	
賀茂	下田市	0.0	0.0	3.9	100.8	0.0	0.0	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	36.2	41.7	0.0	0.0	77.8
	河津町	0.0	0.0	3.7	97.1	0.0	0.0	100.8
	南伊豆町	0.0	0.0	7.8	102.7	0.1	0.0	110.6
	松崎町	0.0	0.7	38.9	45.6	0.0	0.0	85.2
	西伊豆町	0.0	0.2	44.0	61.4	0.0	0.0	105.5
	(小計)	0.0	0.9	134.5	449.2	0.1	0.0	584.7
東部	沼津市	0.0	5.8	157.0	24.2	0.1	0.0	187.1
	熱海市	0.0	0.0	37.2	24.4	0.0	0.0	61.6
	三島市	0.0	0.0	52.4	9.7	0.0	0.0	62.1
	富士宮市	0.0	16.0	366.2	6.8	0.0	0.0	389.0
	伊東市	0.0	0.0	62.8	61.2	0.1	0.0	124.1
	富士市	0.0	23.7	217.3	4.0	0.0	0.0	245.0
	御殿場市	0.0	0.0	192.1	2.7	0.0	0.0	194.9
	裾野市	0.0	0.0	137.8	0.4	0.0	0.0	138.2
	伊豆市	0.0	0.1	288.2	75.7	0.0	0.0	364.0
	伊豆の国市	0.0	0.0	63.1	31.6	0.0	0.0	94.7
	函南町	0.0	0.0	42.9	22.2	0.1	0.0	65.1
	清水町	0.0	0.0	6.4	2.4	0.0	0.0	8.8
	長泉町	0.0	0.0	26.1	0.5	0.0	0.0	26.5
	小山町	0.0	0.0	67.4	68.7	0.0	0.0	136.1
(小計)	0.0	45.6	1717.9	333.5	0.3	0.0	2097.3	
中部	静岡市葵区	21.8	208.4	534.3	188.8	120.2	0.0	1073.4
	静岡市駿河区	27.3	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	72.9
	静岡市清水区	2.0	245.4	18.2	0.0	0.0	0.0	265.5
	島田市	4.1	234.5	77.3	0.0	0.0	0.0	315.9
	焼津市	31.1	39.1	0.4	0.0	0.0	0.0	70.6
	藤枝市	37.9	151.6	4.6	0.0	0.0	0.0	194.0
	牧之原市	6.0	103.9	1.8	0.0	0.0	0.0	111.7
	吉田町	0.5	19.8	0.6	0.0	0.0	0.0	20.8
	川根本町	0.0	0.0	303.3	193.4	0.0	0.0	496.7
	(小計)	130.5	1047.9	940.7	382.2	120.3	0.0	2621.6
西部	浜松市中区	13.5	30.1	0.6	0.0	0.0	0.0	44.2
	浜松市東区	2.8	43.1	0.4	0.0	0.0	0.0	46.3
	浜松市西区	10.1	73.8	0.3	0.0	0.0	0.0	84.3
	浜松市南区	17.9	27.2	1.9	0.0	0.0	0.0	47.0
	浜松市北区	0.7	53.3	82.0	128.9	7.4	0.0	272.3
	浜松市浜北区	0.0	35.4	29.7	1.4	0.0	0.0	66.5
	浜松市天竜区	0.0	12.6	258.1	506.3	167.1	0.0	944.0
	磐田市	45.4	109.0	9.8	0.0	0.0	0.0	164.1
	掛川市	47.2	217.7	0.7	0.0	0.0	0.0	265.6
	袋井市	67.0	41.6	0.0	0.0	0.0	0.0	108.6
	湖西市	1.4	51.6	10.7	4.9	0.0	0.0	68.6
	御前崎市	2.7	55.2	8.0	0.0	0.0	0.0	65.9
	菊川市	4.3	88.8	1.2	0.0	0.0	0.0	94.2
	森町	2.0	110.1	21.7	0.0	0.0	0.0	133.8
(小計)	215.0	949.7	424.8	641.4	174.5	0.0	2405.4	

表 20-2 震度区分別面積集計表(南海トラフ巨大地震 基本ケース)

市町村名	震度区分別の面積						面積の合計	
	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4以下		
県計	345.7	2045.5	3215.8	1806.5	295.4	0.0	7709.0	
賀茂	下田市	0.0	0.0	3.9	100.8	0.0	0.0	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	36.2	41.7	0.0	0.0	77.8
	河津町	0.0	0.0	3.7	97.1	0.0	0.0	100.8
	南伊豆町	0.0	0.0	7.8	102.7	0.1	0.0	110.6
	松崎町	0.0	0.7	38.9	45.6	0.0	0.0	85.2
	西伊豆町	0.0	0.2	44.0	61.4	0.0	0.0	105.5
	(小計)	0.0	0.9	134.5	449.2	0.1	0.0	584.7
東部	沼津市	0.0	5.8	157.0	24.2	0.1	0.0	187.1
	熱海市	0.0	0.0	37.2	24.4	0.0	0.0	61.6
	三島市	0.0	0.0	52.4	9.7	0.0	0.0	62.1
	富士宮市	0.0	16.0	366.2	6.8	0.0	0.0	389.0
	伊東市	0.0	0.0	62.8	61.2	0.1	0.0	124.1
	富士市	0.0	23.7	217.3	4.0	0.0	0.0	245.0
	御殿場市	0.0	0.0	192.1	2.7	0.0	0.0	194.9
	裾野市	0.0	0.0	137.8	0.4	0.0	0.0	138.2
	伊豆市	0.0	0.1	288.2	75.7	0.0	0.0	364.0
	伊豆の国市	0.0	0.0	63.1	31.6	0.0	0.0	94.7
	函南町	0.0	0.0	42.9	22.2	0.1	0.0	65.1
	清水町	0.0	0.0	6.4	2.4	0.0	0.0	8.8
	長泉町	0.0	0.0	26.1	0.5	0.0	0.0	26.5
	小山町	0.0	0.0	67.4	68.7	0.0	0.0	136.1
	(小計)	0.0	45.6	1717.9	333.5	0.3	0.0	2097.3
中部	静岡市葵区	21.8	208.4	534.3	188.8	120.2	0.0	1073.4
	静岡市駿河区	27.3	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	72.9
	静岡市清水区	2.0	245.4	18.2	0.0	0.0	0.0	265.5
	島田市	4.1	234.5	77.3	0.0	0.0	0.0	315.9
	焼津市	31.1	39.1	0.4	0.0	0.0	0.0	70.6
	藤枝市	37.9	151.6	4.6	0.0	0.0	0.0	194.0
	牧之原市	6.0	103.9	1.8	0.0	0.0	0.0	111.7
	吉田町	0.5	19.8	0.6	0.0	0.0	0.0	20.8
	川根本町	0.0	0.0	303.3	193.4	0.0	0.0	496.7
	(小計)	130.5	1047.9	940.7	382.2	120.3	0.0	2621.6
西部	浜松市中区	13.5	30.1	0.6	0.0	0.0	0.0	44.2
	浜松市東区	2.8	43.1	0.4	0.0	0.0	0.0	46.3
	浜松市西区	10.1	73.8	0.3	0.0	0.0	0.0	84.3
	浜松市南区	17.9	27.2	1.9	0.0	0.0	0.0	47.0
	浜松市北区	0.7	53.3	82.0	128.9	7.4	0.0	272.3
	浜松市浜北区	0.0	35.4	29.7	1.4	0.0	0.0	66.5
	浜松市天竜区	0.0	12.6	258.1	506.3	167.1	0.0	944.0
	磐田市	45.4	109.0	9.8	0.0	0.0	0.0	164.1
	掛川市	47.2	217.7	0.7	0.0	0.0	0.0	265.6
	袋井市	67.0	41.6	0.0	0.0	0.0	0.0	108.6
	湖西市	1.4	51.6	10.7	4.9	0.0	0.0	68.6
	御前崎市	2.7	55.2	8.0	0.0	0.0	0.0	65.9
	菊川市	4.3	88.8	1.2	0.0	0.0	0.0	94.2
	森町	2.0	110.1	21.7	0.0	0.0	0.0	133.8
	(小計)	215.0	949.7	424.8	641.4	174.5	0.0	2405.4

表 20-3 震度区分別面積集計表(南海トラフ巨大地震 陸側ケース)

市町村名	震度区分別の面積						面積の合計	
	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4以下		
県計	725.6	1293.3	3406.3	1981.6	302.1	0.0	7709.0	
賀茂	下田市	0.0	0.0	0.0	14.7	90.0	0.0	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	0.0	75.1	2.7	0.0	77.8
	河津町	0.0	0.0	0.0	43.6	57.2	0.0	100.8
	南伊豆町	0.0	0.0	0.0	31.7	78.9	0.0	110.6
	松崎町	0.0	0.0	3.0	43.8	38.5	0.0	85.2
	西伊豆町	0.0	0.0	1.9	98.2	5.5	0.0	105.5
	(小計)	0.0	0.0	4.9	307.1	272.6	0.0	584.7
東部	沼津市	0.0	0.0	85.1	97.4	4.6	0.0	187.1
	熱海市	0.0	0.0	0.0	59.1	2.5	0.0	61.6
	三島市	0.0	0.0	0.1	58.9	3.2	0.0	62.1
	富士宮市	0.0	0.0	191.2	197.8	0.0	0.0	389.0
	伊東市	0.0	0.0	0.0	123.4	0.8	0.0	124.1
	富士市	0.0	0.0	129.5	115.6	0.0	0.0	245.0
	御殿場市	0.0	0.0	82.0	112.8	0.1	0.0	194.9
	裾野市	0.0	0.0	11.4	126.8	0.0	0.0	138.2
	伊豆市	0.0	0.0	26.3	336.7	1.0	0.0	364.0
	伊豆の国市	0.0	0.0	1.5	90.5	2.7	0.0	94.7
	函南町	0.0	0.0	0.0	61.4	3.8	0.0	65.1
	清水町	0.0	0.0	0.1	8.0	0.8	0.0	8.8
	長泉町	0.0	0.0	4.6	21.9	0.0	0.0	26.5
	小山町	0.0	0.0	40.1	85.8	10.2	0.0	136.1
	(小計)	0.0	0.0	571.5	1496.5	29.4	0.0	2097.3
中部	静岡市葵区	0.0	17.6	898.3	157.5	0.0	0.0	1073.4
	静岡市駿河区	0.0	8.5	64.3	0.0	0.0	0.0	72.9
	静岡市清水区	0.0	2.6	244.4	18.5	0.0	0.0	265.5
	島田市	0.1	125.5	190.3	0.0	0.0	0.0	315.9
	焼津市	0.0	22.2	47.9	0.5	0.0	0.0	70.6
	藤枝市	0.0	18.2	175.2	0.7	0.0	0.0	194.0
	牧之原市	0.5	66.2	45.0	0.0	0.0	0.0	111.7
	吉田町	0.0	2.1	18.7	0.0	0.0	0.0	20.8
	川根本町	0.0	4.6	491.0	1.1	0.0	0.0	496.7
	(小計)	0.6	267.3	2175.2	178.5	0.0	0.0	2621.6
西部	浜松市中区	44.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	44.2
	浜松市東区	43.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	46.3
	浜松市西区	84.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	84.3
	浜松市南区	30.0	14.9	2.1	0.0	0.0	0.0	47.0
	浜松市北区	110.4	115.1	46.8	0.0	0.0	0.0	272.3
	浜松市浜北区	44.7	21.2	0.6	0.0	0.0	0.0	66.5
	浜松市天竜区	21.3	350.3	570.4	2.0	0.0	0.0	944.0
	磐田市	139.0	25.1	0.0	0.0	0.0	0.0	164.1
	掛川市	40.0	225.6	0.0	0.0	0.0	0.0	265.6
	袋井市	72.9	35.7	0.0	0.0	0.0	0.0	108.6
	湖西市	56.7	8.3	3.6	0.0	0.0	0.0	68.6
	御前崎市	0.1	37.7	28.1	0.0	0.0	0.0	65.9
	菊川市	7.3	84.4	2.6	0.0	0.0	0.0	94.2
	森町	30.8	103.1	0.0	0.0	0.0	0.0	133.8
	(小計)	724.4	1024.9	654.1	2.0	0.0	0.0	2405.4

表 20-4 震度区分別面積集計表(南海トラフ巨大地震 東側ケース)

市町村名	震度区分別の面積						面積の合計	
	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4以下		
県計	641.1	1952.8	3524.6	1504.7	85.8	0.0	7709.0	
賀茂	下田市	0.0	0.0	45.5	59.2	0.0	0.0	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	73.4	4.4	0.0	0.0	77.8
	河津町	0.0	0.0	56.5	44.3	0.0	0.0	100.8
	南伊豆町	0.0	0.2	32.2	78.2	0.0	0.0	110.6
	松崎町	0.0	5.4	66.8	13.0	0.0	0.0	85.2
	西伊豆町	0.0	8.6	96.9	0.0	0.0	0.0	105.5
	(小計)	0.0	14.2	371.4	199.1	0.0	0.0	584.7
東部	沼津市	0.0	71.6	111.4	4.0	0.1	0.0	187.1
	熱海市	0.0	0.0	52.4	9.2	0.0	0.0	61.6
	三島市	0.0	0.0	55.2	6.9	0.0	0.0	62.1
	富士宮市	0.0	95.5	293.5	0.0	0.0	0.0	389.0
	伊東市	0.0	0.0	105.9	18.2	0.0	0.0	124.1
	富士市	0.0	99.9	145.2	0.0	0.0	0.0	245.0
	御殿場市	0.0	3.4	190.4	1.0	0.0	0.0	194.9
	裾野市	0.0	0.0	138.0	0.1	0.0	0.0	138.2
	伊豆市	0.0	82.5	278.8	2.7	0.0	0.0	364.0
	伊豆の国市	0.0	0.1	88.3	6.3	0.0	0.0	94.7
	函南町	0.0	0.0	56.1	8.9	0.1	0.0	65.1
	清水町	0.0	0.0	7.4	1.5	0.0	0.0	8.8
	長泉町	0.0	0.2	26.0	0.3	0.0	0.0	26.5
	小山町	0.0	0.0	105.9	30.2	0.0	0.0	136.1
	(小計)	0.0	353.7	1654.8	88.7	0.1	0.0	2097.3
中部	静岡市葵区	0.4	89.5	615.1	359.9	8.5	0.0	1073.4
	静岡市駿河区	1.7	70.7	0.5	0.0	0.0	0.0	72.9
	静岡市清水区	17.0	233.0	15.5	0.0	0.0	0.0	265.5
	島田市	4.7	195.1	109.7	6.4	0.0	0.0	315.9
	焼津市	1.1	68.3	1.2	0.0	0.0	0.0	70.6
	藤枝市	1.2	79.0	113.8	0.1	0.0	0.0	194.0
	牧之原市	54.2	57.4	0.0	0.0	0.0	0.0	111.7
	吉田町	1.5	18.6	0.7	0.0	0.0	0.0	20.8
	川根本町	0.0	3.0	231.4	262.3	0.0	0.0	496.7
	(小計)	81.7	814.2	1088.3	628.9	8.5	0.0	2621.6
西部	浜松市中区	7.8	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	44.2
	浜松市東区	4.2	42.1	0.0	0.0	0.0	0.0	46.3
	浜松市西区	45.8	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	84.3
	浜松市南区	10.1	35.2	1.8	0.0	0.0	0.0	47.0
	浜松市北区	14.7	104.5	96.6	56.3	0.2	0.0	272.3
	浜松市浜北区	0.2	45.6	20.4	0.3	0.0	0.0	66.5
	浜松市天竜区	0.0	47.2	289.2	530.7	76.9	0.0	944.0
	磐田市	50.9	113.1	0.1	0.0	0.0	0.0	164.1
	掛川市	132.5	133.2	0.0	0.0	0.0	0.0	265.6
	袋井市	93.5	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	108.6
	湖西市	55.1	10.0	3.5	0.0	0.0	0.0	68.6
	御前崎市	61.5	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	65.9
	菊川市	68.5	25.8	0.0	0.0	0.0	0.0	94.2
	森町	14.1	119.2	0.5	0.0	0.0	0.0	133.8
(小計)	558.8	770.2	412.0	587.3	77.1	0.0	2405.4	

表 2 1 - 1 震度区分別面積集計表 (大正型関東地震)

市町村名	震度区分別の面積						面積の合計	
	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4以下		
県計	42.4	347.6	755.5	744.9	1055.3	4763.3	7709.0	
賀茂	下田市	0.0	0.0	0.0	2.0	97.1	5.6	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	15.9	61.9	0.0	0.0	77.8
	河津町	0.0	0.0	0.0	34.4	66.4	0.0	100.8
	南伊豆町	0.0	0.0	0.0	0.0	25.1	85.4	110.6
	松崎町	0.0	0.0	0.0	2.0	74.2	9.0	85.2
	西伊豆町	0.0	0.0	0.0	11.8	93.8	0.0	105.5
	(小計)	0.0	0.0	15.9	112.1	356.7	100.0	584.7
東部	沼津市	0.0	0.1	104.2	79.7	3.2	0.0	187.1
	熱海市	0.0	51.9	9.7	0.0	0.0	0.0	61.6
	三島市	0.0	28.1	27.7	5.6	0.7	0.0	62.1
	富士宮市	0.0	0.0	0.2	138.7	239.8	10.2	389.0
	伊東市	0.0	3.1	112.9	8.0	0.1	0.0	124.1
	富士市	0.0	0.0	28.0	158.7	58.4	0.0	245.0
	御殿場市	15.9	89.9	74.8	14.3	0.0	0.0	194.9
	裾野市	0.0	49.9	79.9	8.3	0.0	0.0	138.2
	伊豆市	0.0	8.7	139.2	193.1	23.0	0.0	364.0
	伊豆の国市	0.0	19.1	61.1	14.5	0.0	0.0	94.7
	函南町	0.0	35.1	25.1	4.8	0.1	0.0	65.1
	清水町	0.0	0.0	6.4	2.0	0.4	0.0	8.8
	長泉町	0.0	0.0	25.9	0.6	0.0	0.0	26.5
	小山町	27.2	63.3	45.2	0.5	0.0	0.0	136.1
(小計)	42.4	348.2	740.9	629.8	325.7	10.2	2097.3	
中部	静岡市葵区	0.0	0.0	0.0	0.1	46.5	1026.8	1073.4
	静岡市駿河区	0.0	0.0	0.0	1.0	59.9	12.0	72.9
	静岡市清水区	0.0	0.0	0.0	1.6	224.1	39.8	265.5
	島田市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	315.5	315.9
	焼津市	0.0	0.0	0.0	1.3	23.1	46.3	70.6
	藤枝市	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	187.7	194.0
	牧之原市	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	107.1	111.7
	吉田町	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	19.7	20.8
	川根本町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	496.7	496.7
	(小計)	0.0	0.0	0.0	4.0	365.8	2251.9	2621.6
西部	浜松市中区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.2	44.2
	浜松市東区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.3	46.3
	浜松市西区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	84.1	84.3
	浜松市南区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.0	47.0
	浜松市北区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	272.3	272.3
	浜松市浜北区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.5	66.5
	浜松市天竜区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	944.0	944.0
	磐田市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	164.1	164.1
	掛川市	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	259.5	265.6
	袋井市	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	107.4	108.6
	湖西市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.6	68.6
	御前崎市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.9	65.9
	菊川市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	94.2	94.2
	森町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	133.8	133.8
(小計)	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	2397.9	2405.4	

表 2 1 - 2 震度区分別面積集計表 (元禄型関東地震)

市町村名	震度区分別の面積						面積の合計	
	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4以下		
県計	110.2	454.0	878.3	693.0	1046.5	4526.9	7709.0	
賀茂	下田市	0.0	0.0	0.0	3.9	100.7	0.1	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	43.9	33.9	0.1	0.0	77.8
	河津町	0.0	0.0	4.2	57.6	39.1	0.0	100.8
	南伊豆町	0.0	0.0	0.0	0.8	48.9	60.9	110.6
	松崎町	0.0	0.0	0.0	8.9	75.8	0.5	85.2
	西伊豆町	0.0	0.0	0.1	47.3	58.2	0.0	105.5
	(小計)	0.0	0.0	48.2	152.4	322.7	61.5	584.7
東部	沼津市	0.0	4.6	156.8	25.6	0.1	0.0	187.1
	熱海市	0.0	59.1	2.5	0.0	0.0	0.0	61.6
	三島市	0.0	43.1	14.0	5.0	0.1	0.0	62.1
	富士宮市	0.0	0.0	2.3	220.7	165.9	0.0	389.0
	伊東市	0.0	49.1	74.4	0.5	0.0	0.0	124.1
	富士市	0.0	0.0	71.9	142.4	30.7	0.0	245.0
	御殿場市	52.0	69.5	72.1	1.2	0.0	0.0	194.9
	裾野市	12.2	77.8	48.2	0.0	0.0	0.0	138.2
	伊豆市	0.0	15.8	245.7	100.4	2.0	0.0	364.0
	伊豆の国市	0.0	29.3	64.2	1.2	0.0	0.0	94.7
	函南町	0.0	44.1	18.3	2.7	0.1	0.0	65.1
	清水町	0.0	0.3	7.3	1.3	0.0	0.0	8.8
	長泉町	0.0	6.0	20.5	0.0	0.0	0.0	26.5
	小山町	47.2	56.6	32.3	0.1	0.0	0.0	136.1
	(小計)	110.3	454.8	831.5	501.7	198.8	0.0	2097.3
中部	静岡市葵区	0.0	0.0	0.0	11.7	104.2	957.5	1073.4
	静岡市駿河区	0.0	0.0	0.0	4.4	68.5	0.1	72.9
	静岡市清水区	0.0	0.0	0.0	21.9	229.3	14.3	265.5
	島田市	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	312.9	315.9
	焼津市	0.0	0.0	0.0	1.6	38.3	30.7	70.6
	藤枝市	0.0	0.0	0.0	0.1	30.5	163.4	194.0
	牧之原市	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	99.8	111.7
	吉田町	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	19.3	20.8
	川根本町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	496.7	496.7
	(小計)	0.0	0.0	0.0	39.7	487.0	2094.9	2621.6
西部	浜松市中区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.2	44.2
	浜松市東区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.3	46.3
	浜松市西区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	84.2	84.3
	浜松市南区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.0	47.0
	浜松市北区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	272.3	272.3
	浜松市浜北区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.5	66.5
	浜松市天竜区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	944.0	944.0
	磐田市	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	162.6	164.1
	掛川市	0.0	0.0	0.0	0.0	12.1	253.5	265.6
	袋井市	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8	94.8	108.6
	湖西市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.6	68.6
	御前崎市	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	62.8	65.9
	菊川市	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	86.9	94.2
	森町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	133.7	133.8
(小計)	0.0	0.0	0.0	0.0	38.0	2367.3	2405.4	



表 2 2 - 1 液状化可能性区分別面積集計表(東海・東南海・南海地震)

市町村名		液状化可能性別の面積					面積の合計
		大	中	小	なし	対象外	
県計		178.8	214.8	106.1	205.6	7003.8	7709.0
賀茂	下田市	1.2	1.3	2.3	1.2	98.8	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	0.0	0.0	77.7	77.8
	河津町	0.8	0.2	0.7	0.6	98.5	100.8
	南伊豆町	0.7	1.7	1.2	2.4	104.5	110.6
	松崎町	1.1	1.2	0.8	0.9	81.3	85.2
	西伊豆町	0.8	0.9	1.4	0.9	101.4	105.5
	(小計)	4.6	5.4	6.4	6.0	562.3	584.7
東部	沼津市	3.7	6.4	6.6	8.4	161.9	187.1
	熱海市	0.0	0.2	0.5	0.2	60.7	61.6
	三島市	2.3	3.9	1.7	0.4	53.8	62.1
	富士宮市	0.3	2.0	0.5	1.5	384.6	389.0
	伊東市	0.8	0.6	1.2	1.6	119.9	124.1
	富士市	5.8	7.5	5.6	12.3	213.7	245.0
	御殿場市	0.1	0.0	0.0	0.0	194.8	194.9
	裾野市	0.0	0.1	0.1	0.0	138.0	138.2
	伊豆市	0.5	0.3	1.6	3.3	358.2	364.0
	伊豆の国市	4.3	5.3	2.9	3.7	78.5	94.7
	函南町	1.6	1.9	2.2	1.9	57.6	65.1
	清水町	0.9	1.2	0.8	0.5	5.5	8.8
	長泉町	0.1	0.0	0.0	0.1	26.2	26.5
	小山町	0.3	0.3	0.4	1.4	133.7	136.1
(小計)	20.9	29.9	24.2	35.5	1986.9	2097.3	
中部	静岡市葵区	6.4	9.4	3.0	10.3	1044.3	1073.4
	静岡市駿河区	6.3	7.2	2.0	4.9	52.5	72.9
	静岡市清水区	14.9	12.0	3.5	8.5	226.6	265.5
	島田市	1.0	4.0	1.7	7.4	301.8	315.9
	焼津市	5.4	10.4	4.7	12.5	37.7	70.6
	藤枝市	3.9	7.0	3.4	8.1	171.6	194.0
	牧之原市	3.9	3.4	1.9	6.7	95.8	111.7
	吉田町	2.1	3.9	2.0	3.7	9.2	20.8
	川根本町	0.1	1.3	1.5	0.6	493.3	496.7
	(小計)	44.0	58.4	23.8	62.5	2432.9	2621.6
西部	浜松市中区	4.4	3.8	2.3	3.7	29.9	44.2
	浜松市東区	3.4	11.9	6.9	9.7	14.4	46.3
	浜松市西区	16.2	9.7	3.0	4.8	50.7	84.3
	浜松市南区	18.6	15.2	4.1	5.8	3.3	47.0
	浜松市北区	3.4	3.1	1.9	3.6	260.3	272.3
	浜松市浜北区	2.2	3.1	1.9	11.5	47.8	66.5
	浜松市天竜区	1.4	2.1	1.6	2.2	936.7	944.0
	磐田市	18.5	22.8	10.9	26.3	85.6	164.1
	掛川市	10.2	14.3	5.4	9.8	225.9	265.6
	袋井市	11.2	18.3	5.4	8.2	65.5	108.6
	湖西市	11.6	3.2	1.0	2.7	50.2	68.6
	御前崎市	1.4	4.7	4.9	9.5	45.5	65.9
	菊川市	4.7	6.2	1.1	1.6	80.6	94.2
	森町	1.8	2.6	1.3	2.2	126.0	133.8
(小計)	109.1	121.0	51.7	101.5	2022.0	2405.4	

(注)内閣府(2012)の南海トラフ巨大地震の基本ケースの強震断層モデルを用いて計算したもの。

表 2 2 - 2 液状化可能性区分別面積集計表(南海トラフ巨大地震 基本ケース)

市町村名	液状化可能性別の面積					面積の合計	
	大	中	小	なし	対象外		
県計	178.8	214.8	106.1	205.6	7003.8	7709.0	
賀茂	下田市	1.2	1.3	2.3	1.2	98.8	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	0.0	0.0	77.7	77.8
	河津町	0.8	0.2	0.7	0.6	98.5	100.8
	南伊豆町	0.7	1.7	1.2	2.4	104.5	110.6
	松崎町	1.1	1.2	0.8	0.9	81.3	85.2
	西伊豆町	0.8	0.9	1.4	0.9	101.4	105.5
	(小計)	4.6	5.4	6.4	6.0	562.3	584.7
東部	沼津市	3.7	6.4	6.6	8.4	161.9	187.1
	熱海市	0.0	0.2	0.5	0.2	60.7	61.6
	三島市	2.3	3.9	1.7	0.4	53.8	62.1
	富士宮市	0.3	2.0	0.5	1.5	384.6	389.0
	伊東市	0.8	0.6	1.2	1.6	119.9	124.1
	富士市	5.8	7.5	5.6	12.3	213.7	245.0
	御殿場市	0.1	0.0	0.0	0.0	194.8	194.9
	裾野市	0.0	0.1	0.1	0.0	138.0	138.2
	伊豆市	0.5	0.3	1.6	3.3	358.2	364.0
	伊豆の国市	4.3	5.3	2.9	3.7	78.5	94.7
	函南町	1.6	1.9	2.2	1.9	57.6	65.1
	清水町	0.9	1.2	0.8	0.5	5.5	8.8
	長泉町	0.1	0.0	0.0	0.1	26.2	26.5
	小山町	0.3	0.3	0.4	1.4	133.7	136.1
(小計)	20.9	29.9	24.2	35.5	1986.9	2097.3	
中部	静岡市葵区	6.4	9.4	3.0	10.3	1044.3	1073.4
	静岡市駿河区	6.3	7.2	2.0	4.9	52.5	72.9
	静岡市清水区	14.9	12.0	3.5	8.5	226.6	265.5
	島田市	1.0	4.0	1.7	7.4	301.8	315.9
	焼津市	5.4	10.4	4.7	12.5	37.7	70.6
	藤枝市	3.9	7.0	3.4	8.1	171.6	194.0
	牧之原市	3.9	3.4	1.9	6.7	95.8	111.7
	吉田町	2.1	3.9	2.0	3.7	9.2	20.8
	川根本町	0.1	1.3	1.5	0.6	493.3	496.7
	(小計)	44.0	58.4	23.8	62.5	2432.9	2621.6
西部	浜松市中区	4.4	3.8	2.3	3.7	29.9	44.2
	浜松市東区	3.4	11.9	6.9	9.7	14.4	46.3
	浜松市西区	16.2	9.7	3.0	4.8	50.7	84.3
	浜松市南区	18.6	15.2	4.1	5.8	3.3	47.0
	浜松市北区	3.4	3.1	1.9	3.6	260.3	272.3
	浜松市浜北区	2.2	3.1	1.9	11.5	47.8	66.5
	浜松市天竜区	1.4	2.1	1.6	2.2	936.7	944.0
	磐田市	18.5	22.8	10.9	26.3	85.6	164.1
	掛川市	10.2	14.3	5.4	9.8	225.9	265.6
	袋井市	11.2	18.3	5.4	8.2	65.5	108.6
	湖西市	11.6	3.2	1.0	2.7	50.2	68.6
	御前崎市	1.4	4.7	4.9	9.5	45.5	65.9
	菊川市	4.7	6.2	1.1	1.6	80.6	94.2
	森町	1.8	2.6	1.3	2.2	126.0	133.8
(小計)	109.1	121.0	51.7	101.5	2022.0	2405.4	

表 2 2 - 3 液状化可能性区分別面積集計表(南海トラフ巨大地震 陸側ケース)

市町村名	液状化可能性別の面積					面積の合計	
	大	中	小	なし	対象外		
県計	161.1	207.2	121.2	215.6	7003.9	7709.0	
賀茂	下田市	0.6	0.8	2.5	1.9	98.8	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	0.0	0.0	77.7	77.8
	河津町	0.3	0.5	0.6	0.9	98.5	100.8
	南伊豆町	0.2	1.1	1.7	3.2	104.5	110.6
	松崎町	0.9	0.5	1.5	1.0	81.3	85.2
	西伊豆町	0.6	0.3	1.9	1.2	101.4	105.5
	(小計)	2.6	3.2	8.3	8.3	562.3	584.7
東部	沼津市	1.0	4.5	8.2	11.5	161.9	187.1
	熱海市	0.0	0.0	0.5	0.4	60.7	61.6
	三島市	0.5	2.4	4.1	1.3	53.8	62.1
	富士宮市	0.3	1.2	1.1	1.8	384.6	389.0
	伊東市	0.6	0.4	1.6	1.7	119.9	124.1
	富士市	3.4	6.8	6.8	14.2	213.7	245.0
	御殿場市	0.1	0.0	0.0	0.0	194.8	194.9
	裾野市	0.0	0.1	0.1	0.0	138.0	138.2
	伊豆市	0.5	0.2	0.9	4.2	358.2	364.0
	伊豆の国市	2.4	5.4	4.1	4.3	78.5	94.7
	函南町	0.5	1.9	2.9	2.3	57.6	65.1
	清水町	0.4	0.9	1.3	0.7	5.5	8.8
	長泉町	0.0	0.1	0.0	0.2	26.2	26.5
	小山町	0.2	0.5	0.3	1.5	133.7	136.1
(小計)	10.0	24.4	32.0	44.0	1986.9	2097.3	
中部	静岡市葵区	5.0	9.3	4.3	10.5	1044.3	1073.4
	静岡市駿河区	4.5	7.5	3.0	5.4	52.5	72.9
	静岡市清水区	9.4	12.4	7.1	10.1	226.6	265.5
	島田市	0.7	3.4	2.7	7.4	301.8	315.9
	焼津市	4.0	8.4	7.8	12.8	37.7	70.6
	藤枝市	2.1	7.0	4.3	9.0	171.6	194.0
	牧之原市	3.1	3.8	2.1	7.0	95.8	111.7
	吉田町	1.6	2.9	3.2	4.0	9.2	20.8
	川根本町	0.1	1.4	1.5	0.5	493.3	496.7
	(小計)	30.4	55.9	35.9	66.6	2432.9	2621.6
西部	浜松市中区	4.7	3.9	2.4	3.3	29.9	44.2
	浜松市東区	4.2	12.4	6.1	9.1	14.4	46.3
	浜松市西区	18.6	8.9	2.1	3.8	50.8	84.3
	浜松市南区	20.1	14.1	3.6	5.8	3.3	47.0
	浜松市北区	4.4	3.9	0.9	2.8	260.3	272.3
	浜松市浜北区	2.9	3.3	1.0	11.5	47.8	66.5
	浜松市天竜区	3.3	1.7	0.7	1.5	936.7	944.0
	磐田市	19.2	25.2	9.6	24.5	85.6	164.1
	掛川市	9.7	14.5	5.6	9.8	225.9	265.6
	袋井市	10.3	19.2	5.3	8.3	65.5	108.6
	湖西市	12.9	2.6	0.6	2.3	50.2	68.6
	御前崎市	0.9	4.3	4.8	10.4	45.5	65.9
	菊川市	4.7	6.2	1.1	1.6	80.6	94.2
	森町	1.8	2.9	1.3	1.8	126.0	133.8
(小計)	118.0	123.4	45.0	96.7	2022.1	2405.4	

表 2 2 - 4 液状化可能性区分別面積集計表(南海トラフ巨大地震 東側ケース)

市町村名	液状化可能性別の面積					面積の合計	
	大	中	小	なし	対象外		
県計	186.5	219.1	100.8	198.7	7003.9	7709.0	
賀茂	下田市	1.5	1.5	2.0	0.9	98.8	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	0.0	0.0	77.7	77.8
	河津町	0.8	0.2	0.7	0.6	98.5	100.8
	南伊豆町	1.3	1.7	0.9	2.2	104.5	110.6
	松崎町	1.1	1.4	0.6	0.9	81.3	85.2
	西伊豆町	0.9	1.2	1.3	0.7	101.4	105.5
	(小計)	5.7	6.0	5.5	5.3	562.3	584.7
東部	沼津市	4.6	7.3	5.8	7.5	161.9	187.1
	熱海市	0.0	0.2	0.5	0.2	60.7	61.6
	三島市	2.6	4.0	1.4	0.4	53.8	62.1
	富士宮市	0.3	2.1	0.4	1.5	384.6	389.0
	伊東市	0.9	0.7	1.2	1.5	119.9	124.1
	富士市	6.4	7.9	4.9	12.1	213.7	245.0
	御殿場市	0.1	0.0	0.0	0.0	194.8	194.9
	裾野市	0.0	0.1	0.1	0.0	138.0	138.2
	伊豆市	0.5	0.6	1.5	3.2	358.2	364.0
	伊豆の国市	4.8	5.5	2.3	3.7	78.5	94.7
	函南町	1.8	2.0	1.8	1.9	57.6	65.1
	清水町	1.0	1.2	0.8	0.4	5.5	8.8
	長泉町	0.1	0.0	0.0	0.1	26.2	26.5
	小山町	0.5	0.2	0.7	1.1	133.7	136.1
(小計)	23.7	31.7	21.3	33.8	1986.9	2097.3	
中部	静岡市葵区	5.6	9.2	3.8	10.5	1044.3	1073.4
	静岡市駿河区	5.8	7.4	2.3	4.9	52.5	72.9
	静岡市清水区	16.3	11.5	3.0	8.1	226.6	265.5
	島田市	1.0	3.8	1.9	7.4	301.8	315.9
	焼津市	4.6	10.0	5.8	12.5	37.7	70.6
	藤枝市	2.7	7.1	3.6	9.0	171.6	194.0
	牧之原市	4.3	3.8	1.9	5.9	95.8	111.7
	吉田町	2.1	3.9	2.0	3.6	9.2	20.8
	川根本町	0.1	1.4	1.5	0.5	493.3	496.7
	(小計)	42.5	58.1	25.8	62.3	2432.9	2621.6
西部	浜松市中区	4.3	3.7	2.5	3.8	29.9	44.2
	浜松市東区	3.6	11.7	7.4	9.3	14.4	46.3
	浜松市西区	17.4	9.4	2.6	4.1	50.8	84.3
	浜松市南区	17.4	15.8	4.4	6.1	3.3	47.0
	浜松市北区	3.7	3.9	1.3	3.1	260.3	272.3
	浜松市浜北区	2.3	3.2	1.7	11.5	47.8	66.5
	浜松市天竜区	2.4	1.7	1.4	1.8	936.7	944.0
	磐田市	18.3	23.6	10.5	26.1	85.6	164.1
	掛川市	11.2	14.5	4.9	9.3	225.9	265.6
	袋井市	11.7	18.1	4.9	8.2	65.5	108.6
	湖西市	12.7	2.7	0.6	2.4	50.2	68.6
	御前崎市	1.9	6.3	3.8	8.4	45.5	65.9
	菊川市	5.4	5.8	0.8	1.6	80.6	94.2
	森町	1.8	2.6	1.5	1.8	126.0	133.8
(小計)	114.5	123.2	48.2	97.2	2022.1	2405.4	

表 2 3 - 1 液状化可能性区別面積集計表(大正型関東地震)

市町村名		液状化可能性別の面積					面積の合計
		大	中	小	なし	対象外	
県計		16.3	29.2	51.6	128.7	7483.1	7709.0
賀茂	下田市	0.4	0.5	2.1	2.5	99.3	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	0.0	0.0	77.7	77.8
	河津町	0.1	0.8	0.5	0.9	98.5	100.8
	南伊豆町	0.0	0.0	1.1	1.8	107.7	110.6
	松崎町	0.0	0.8	1.5	1.5	81.5	85.2
	西伊豆町	0.0	0.1	0.9	3.1	101.4	105.5
	(小計)	0.5	2.1	6.0	9.8	566.2	584.7
東部	沼津市	2.3	5.5	7.4	10.1	161.9	187.1
	熱海市	0.1	0.3	0.3	0.2	60.7	61.6
	三島市	2.1	3.5	2.0	0.7	53.8	62.1
	富士宮市	0.1	0.0	0.5	3.8	384.6	389.0
	伊東市	1.0	0.6	1.0	1.5	119.9	124.1
	富士市	2.5	4.1	8.7	16.1	213.7	245.0
	御殿場市	0.1	0.0	0.0	0.0	194.8	194.9
	裾野市	0.0	0.1	0.0	0.0	138.0	138.2
	伊豆市	0.1	0.6	1.5	3.5	358.2	364.0
	伊豆の国市	4.6	5.6	2.4	3.7	78.5	94.7
	函南町	1.3	2.3	2.1	1.8	57.6	65.1
	清水町	0.7	1.1	1.0	0.5	5.5	8.8
	長泉町	0.1	0.0	0.0	0.1	26.2	26.5
	小山町	0.7	0.5	0.2	1.1	133.7	136.1
(小計)	15.8	24.2	27.1	43.3	1986.9	2097.3	
中部	静岡市葵区	0.0	0.3	3.1	15.1	1055.0	1073.4
	静岡市駿河区	0.0	0.2	4.5	15.6	52.6	72.9
	静岡市清水区	0.0	1.0	7.7	29.9	227.0	265.5
	島田市	0.0	0.0	0.0	0.4	315.5	315.9
	焼津市	0.0	1.5	3.0	8.0	58.1	70.6
	藤枝市	0.0	0.0	0.1	1.9	192.1	194.0
	牧之原市	0.0	0.0	0.1	1.2	110.3	111.7
	吉田町	0.0	0.0	0.0	0.7	20.1	20.8
	川根本町	0.0	0.0	0.0	0.0	496.7	496.7
	(小計)	0.0	2.9	18.4	72.8	2527.5	2621.6
西部	浜松市中区	0.0	0.0	0.0	0.0	44.2	44.2
	浜松市東区	0.0	0.0	0.0	0.0	46.3	46.3
	浜松市西区	0.0	0.0	0.0	0.0	84.3	84.3
	浜松市南区	0.0	0.0	0.0	0.0	47.0	47.0
	浜松市北区	0.0	0.0	0.0	0.0	272.3	272.3
	浜松市浜北区	0.0	0.0	0.0	0.0	66.5	66.5
	浜松市天竜区	0.0	0.0	0.0	0.0	944.0	944.0
	磐田市	0.0	0.0	0.0	0.0	164.1	164.1
	掛川市	0.0	0.0	0.1	2.4	263.1	265.6
	袋井市	0.0	0.0	0.0	0.4	108.2	108.6
	湖西市	0.0	0.0	0.0	0.0	68.6	68.6
	御前崎市	0.0	0.0	0.0	0.0	65.9	65.9
	菊川市	0.0	0.0	0.0	0.0	94.2	94.2
	森町	0.0	0.0	0.0	0.0	133.8	133.8
	(小計)	0.0	0.0	0.1	2.8	2402.5	2405.4

表 2 3 - 2 液状化可能性区別面積集計表(元禄型関東地震)

市町村名	液状化可能性別の面積					面積の合計	
	大	中	小	なし	対象外		
県計	20.9	36.5	64.3	145.2	7442.1	7709.0	
賀茂	下田市	0.4	0.6	2.1	2.8	98.8	104.7
	東伊豆町	0.0	0.0	0.0	0.0	77.7	77.8
	河津町	0.0	0.7	0.6	1.0	98.5	100.8
	南伊豆町	0.0	0.0	1.1	2.4	107.1	110.6
	松崎町	0.0	0.9	1.7	1.5	81.3	85.2
	西伊豆町	0.0	0.6	1.2	2.3	101.4	105.5
	(小計)	0.4	2.8	6.6	10.0	564.9	584.7
東部	沼津市	3.6	6.8	6.4	8.4	161.9	187.1
	熱海市	0.2	0.3	0.2	0.2	60.7	61.6
	三島市	3.0	3.7	1.2	0.5	53.8	62.1
	富士宮市	0.1	0.1	0.5	3.6	384.6	389.0
	伊東市	1.2	0.9	0.8	1.4	119.9	124.1
	富士市	2.6	4.5	8.4	15.9	213.7	245.0
	御殿場市	0.1	0.0	0.0	0.0	194.8	194.9
	裾野市	0.0	0.1	0.0	0.0	138.0	138.2
	伊豆市	0.3	0.7	1.5	3.3	358.2	364.0
	伊豆の国市	5.3	5.4	2.0	3.5	78.5	94.7
	函南町	1.8	2.6	1.4	1.7	57.6	65.1
	清水町	1.1	0.9	0.9	0.5	5.5	8.8
	長泉町	0.1	0.0	0.0	0.1	26.2	26.5
小山町	0.7	0.6	0.1	1.1	133.7	136.1	
(小計)	20.1	26.5	23.5	40.3	1986.9	2097.3	
中部	静岡市葵区	0.2	2.0	8.0	13.6	1049.7	1073.4
	静岡市駿河区	0.0	1.1	7.3	11.9	52.5	72.9
	静岡市清水区	0.1	2.4	11.7	24.7	226.6	265.5
	島田市	0.0	0.0	0.2	0.6	315.1	315.9
	焼津市	0.1	1.6	3.3	14.2	51.4	70.6
	藤枝市	0.0	0.1	1.1	7.8	185.0	194.0
	牧之原市	0.0	0.0	0.2	3.4	108.0	111.7
	吉田町	0.0	0.0	0.0	1.1	19.7	20.8
	川根本町	0.0	0.0	0.0	0.0	496.7	496.7
	(小計)	0.3	7.2	31.9	77.3	2504.8	2621.6
西部	浜松市中区	0.0	0.0	0.0	0.0	44.2	44.2
	浜松市東区	0.0	0.0	0.0	0.0	46.3	46.3
	浜松市西区	0.0	0.0	0.0	0.0	84.3	84.3
	浜松市南区	0.0	0.0	0.0	0.0	47.0	47.0
	浜松市北区	0.0	0.0	0.0	0.0	272.3	272.3
	浜松市浜北区	0.0	0.0	0.0	0.0	66.5	66.5
	浜松市天竜区	0.0	0.0	0.0	0.0	944.0	944.0
	磐田市	0.0	0.0	0.2	0.4	163.4	164.1
	掛川市	0.0	0.0	0.1	3.8	261.7	265.6
	袋井市	0.0	0.0	0.1	8.5	100.0	108.6
	湖西市	0.0	0.0	0.0	0.0	68.6	68.6
	御前崎市	0.0	0.0	0.3	1.5	64.1	65.9
	菊川市	0.0	0.0	1.7	3.3	89.3	94.2
	森町	0.0	0.0	0.0	0.2	133.7	133.8
(小計)	0.0	0.0	2.4	17.6	2385.4	2405.4	

表24-1 山・崖崩れ危険度ランク別箇所数  
(レベル1の地震(東海・東南海・南海地震):市町別)

市町名		急傾斜地危険箇所			地すべり危険箇所			山腹崩壊危険地区		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C
県合計		6,548	2,427	653	51	107	210	2,570	510	183
賀茂	下田市	50	201	51	0	0	0	51	13	8
	東伊豆町	3	26	21	0	4	3	27	3	3
	河津町	13	75	11	0	1	5	59	10	2
	南伊豆町	22	149	58	0	0	3	49	19	16
	松崎町	84	37	7	0	0	1	82	6	0
	西伊豆町	52	45	12	0	0	2	74	19	10
東部	沼津市	53	75	35	0	0	0	49	12	9
	熱海市	63	79	14	0	0	1	26	4	0
	三島市	34	35	11	0	0	0	3	8	1
	富士宮市	195	36	0	0	0	1	89	3	0
	伊東市	61	85	23	0	0	2	18	6	3
	富士市	115	38	4	0	1	2	24	4	0
	御殿場市	2	4	0	0	0	0			
	裾野市	19	15	1	0	0	0	7	5	0
	伊豆市	182	115	25	0	2	12	139	31	4
	伊豆の国市	58	78	15	0	1	1	22	21	12
	函南町	34	22	12	0	0	1	11	7	2
	清水町	11	3	1	0	0	0	3	3	2
	長泉町	20	7	0	0	0	0	0	1	0
	小山町	9	35	15	0	0	0	11	12	6
中部	静岡市葵区	736	180	0	0	4	10	504	25	0
	静岡市駿河区	148	26	0	0	0	0	34	0	0
	静岡市清水区	407	91	0	4	12	10	182	5	0
	島田市	359	70	0	14	15	17	189	22	1
	焼津市	25	20	0	1	2	0	11	3	0
	藤枝市	354	59	0	23	10	3	136	13	0
	牧之原市	236	24	0	0	4	0	41	1	1
	吉田町	4	2	0	0	0	0			
	川根本町	116	26	1	0	2	9	85	16	3
西部	浜松市中区	131	12	0	0	0	0			
	浜松市東区	20	0	0	0	0	0			
	浜松市西区	168	33	0	0	0	0	2	1	0
	浜松市南区	0	0	0	0	0	0			
	浜松市北区	189	274	126	0	3	17	34	25	10
	浜松市浜北区	42	13	2	0	1	0	2	2	0
	浜松市天竜区	340	328	207	0	29	90	349	196	88
	磐田市	165	6	0	0	0	0	18	1	0
	掛川市	774	30	0	6	9	9	67	5	0
	袋井市	192	10	0	0	0	0	17	0	1
	湖西市	141	10	1	0	0	0	9	1	0
	御前崎市	244	18	0	0	0	0	28	1	0
	菊川市	360	32	0	0	3	1	32	0	1
	森町	317	3	0	3	4	10	86	6	0

表24-2 山・崖崩れ危険度ランク別箇所数  
(レベル2の地震(南海トラフ巨大地震基本ケース):市町別)

市町名		急傾斜地危険箇所			地すべり危険箇所			山腹崩壊危険地区		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C
県合計		6,548	2,427	653	51	107	210	2,570	510	183
賀茂	下田市	50	201	51	0	0	0	51	13	8
	東伊豆町	3	26	21	0	4	3	27	3	3
	河津町	13	75	11	0	1	5	59	10	2
	南伊豆町	22	149	58	0	0	3	49	19	16
	松崎町	84	37	7	0	0	1	82	6	0
	西伊豆町	52	45	12	0	0	2	74	19	10
東部	沼津市	53	75	35	0	0	0	49	12	9
	熱海市	63	79	14	0	0	1	26	4	0
	三島市	34	35	11	0	0	0	3	8	1
	富士宮市	195	36	0	0	0	1	89	3	0
	伊東市	61	85	23	0	0	2	18	6	3
	富士市	115	38	4	0	1	2	24	4	0
	御殿場市	2	4	0	0	0	0			
	裾野市	19	15	1	0	0	0	7	5	0
	伊豆市	182	115	25	0	2	12	139	31	4
	伊豆の国市	58	78	15	0	1	1	22	21	12
	函南町	34	22	12	0	0	1	11	7	2
	清水町	11	3	1	0	0	0	3	3	2
	長泉町	20	7	0	0	0	0	0	1	0
	小山町	9	35	15	0	0	0	11	12	6
中部	静岡市葵区	736	180	0	0	4	10	504	25	0
	静岡市駿河区	148	26	0	0	0	0	34	0	0
	静岡市清水区	407	91	0	4	12	10	182	5	0
	島田市	359	70	0	14	15	17	189	22	1
	焼津市	25	20	0	1	2	0	11	3	0
	藤枝市	354	59	0	23	10	3	136	13	0
	牧之原市	236	24	0	0	4	0	41	1	1
	吉田町	4	2	0	0	0	0			
	川根本町	116	26	1	0	2	9	85	16	3
西部	浜松市中区	131	12	0	0	0	0			
	浜松市東区	20	0	0	0	0	0			
	浜松市西区	168	33	0	0	0	0	2	1	0
	浜松市南区	0	0	0	0	0	0			
	浜松市北区	189	274	126	0	3	17	34	25	10
	浜松市浜北区	42	13	2	0	1	0	2	2	0
	浜松市天竜区	340	328	207	0	29	90	349	196	88
	磐田市	165	6	0	0	0	0	18	1	0
	掛川市	774	30	0	6	9	9	67	5	0
	袋井市	192	10	0	0	0	0	17	0	1
	湖西市	141	10	1	0	0	0	9	1	0
	御前崎市	244	18	0	0	0	0	28	1	0
	菊川市	360	32	0	0	3	1	32	0	1
	森町	317	3	0	3	4	10	86	6	0



表24-3 山・崖崩れ危険度ランク別箇所数

(レベル2の地震(南海トラフ巨大地震 陸側ケース):市町別)

市町名		急傾斜地危険箇所			地すべり危険箇所			山腹崩壊危険地区		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C
県合計		6,546	2,121	961	36	128	204	2,504	556	203
賀茂	下田市	11	85	206	0	0	0	10	42	20
	東伊豆町	1	25	24	0	4	3	25	5	3
	河津町	1	31	67	0	0	6	9	51	11
	南伊豆町	6	45	178	0	0	3	13	42	29
	松崎町	20	65	43	0	0	1	56	28	4
	西伊豆町	21	62	26	0	0	2	59	27	17
東部	沼津市	14	82	67	0	0	0	40	19	11
	熱海市	6	119	31	0	0	1	23	3	4
	三島市	3	33	44	0	0	0	0	3	9
	富士宮市	78	129	24	0	0	1	81	8	3
	伊東市	17	119	33	0	0	2	14	8	5
	富士市	65	70	22	0	1	2	23	2	3
	御殿場市	0	2	4	0	0	0			
	裾野市	0	23	12	0	0	0	3	4	5
	伊豆市	56	201	65	0	2	12	123	32	19
	伊豆の国市	28	89	34	0	1	1	16	16	23
	函南町	13	36	19	0	0	1	10	6	4
	清水町	1	13	1	0	0	0	3	3	2
	長泉町	3	18	6	0	0	0	0	0	1
	小山町	6	30	23	0	0	0	9	14	6
中部	静岡市葵区	699	209	8	0	3	11	473	54	2
	静岡市駿河区	143	31	0	0	0	0	30	4	0
	静岡市清水区	384	97	17	0	6	20	155	27	5
	島田市	356	73	0	10	14	22	176	31	5
	焼津市	25	20	0	0	2	1	11	3	0
	藤枝市	353	60	0	1	22	13	112	34	3
	牧之原市	232	28	0	0	1	3	36	6	1
	吉田町	4	2	0	0	0	0			
	川根本町	131	12	0	1	2	8	90	13	1
西部	浜松市中区	131	12	0	0	0	0			
	浜松市東区	20	0	0	0	0	0			
	浜松市西区	168	33	0	0	0	0	3	0	0
	浜松市南区	0	0	0	0	0	0			
	浜松市北区	512	77	0	1	5	14	65	4	0
	浜松市浜北区	56	1	0	1	0	0	4	0	0
	浜松市天竜区	790	83	2	11	51	57	571	57	5
	磐田市	164	5	2	0	0	0	19	0	0
	掛川市	772	29	3	6	9	9	68	4	0
	袋井市	192	10	0	0	0	0	17	0	1
	湖西市	143	9	0	0	0	0	10	0	0
	御前崎市	244	18	0	0	0	0	28	1	0
	菊川市	360	32	0	0	2	2	32	0	1
	森町	317	3	0	5	3	9	87	5	0

表24-4 山・崖崩れ危険度ランク別箇所数  
(レベル2の地震(南海トラフ巨大地震 東側ケース):市町別)

市町名		急傾斜地危険箇所			地すべり危険箇所			山腹崩壊危険地区		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C
県合計		7,100	2,190	338	39	118	211	2,660	498	105
賀茂	下田市	140	132	30	0	0	0	54	15	3
	東伊豆町	23	16	11	0	4	3	28	4	1
	河津町	29	60	10	0	1	5	60	10	1
	南伊豆町	54	128	47	0	0	3	52	21	11
	松崎町	92	33	3	0	0	1	83	5	0
	西伊豆町	85	22	2	0	0	2	85	17	1
東部	沼津市	83	75	5	0	0	0	56	13	1
	熱海市	108	44	4	0	0	1	26	4	0
	三島市	34	43	3	0	0	0	3	9	0
	富士宮市	202	29	0	0	0	1	89	3	0
	伊東市	113	49	7	0	0	2	22	5	0
	富士市	118	35	4	0	1	2	28	0	0
	御殿場市	2	4	0	0	0	0			
	裾野市	21	13	1	0	0	0	7	5	0
	伊豆市	242	75	5	0	3	11	155	17	2
	伊豆の国市	100	47	4	0	1	1	29	22	4
	函南町	47	15	6	0	0	1	15	5	0
	清水町	13	2	0	0	0	0	6	2	0
	長泉町	20	7	0	0	0	0	0	1	0
	小山町	16	33	10	0	0	0	19	4	6
中部	静岡市葵区	656	253	7	0	4	10	470	51	8
	静岡市駿河区	148	26	0	0	0	0	34	0	0
	静岡市清水区	408	90	0	6	10	10	185	2	0
	島田市	358	71	0	14	14	18	179	32	1
	焼津市	25	20	0	1	2	0	11	3	0
	藤枝市	353	60	0	8	16	12	119	29	1
	牧之原市	237	23	0	0	4	0	42	0	1
	吉田町	4	2	0	0	0	0			
	川根本町	117	26	0	0	3	8	85	17	2
西部	浜松市中区	131	12	0	0	0	0			
	浜松市東区	20	0	0	0	0	0			
	浜松市西区	168	33	0	0	0	0	2	1	0
	浜松市南区	0	0	0	0	0	0			
	浜松市北区	287	225	77	0	3	17	40	23	6
	浜松市浜北区	47	10	0	0	1	0	2	2	0
	浜松市天竜区	398	375	102	0	35	84	412	167	54
	磐田市	166	5	0	0	0	0	19	0	0
	掛川市	779	25	0	6	9	9	68	4	0
	袋井市	192	10	0	0	0	0	17	0	1
	湖西市	143	9	0	0	0	0	10	0	0
	御前崎市	244	18	0	0	0	0	29	0	0
	菊川市	360	32	0	0	3	1	32	0	1
	森町	317	3	0	4	4	9	87	5	0

表25-1 山・崖崩れ危険度ランク別箇所数

(レベル1の地震(大正型関東地震):市町別)

市町名		急傾斜地危険箇所			地すべり危険箇所			山腹崩壊危険地区		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C
県合計		729	837	8,062	0	7	361	361	582	2,320
賀茂	下田市	4	43	255	0	0	0	3	47	22
	東伊豆町	2	27	21	0	4	3	26	4	3
	河津町	2	22	75	0	0	6	8	53	10
	南伊豆町	0	5	224	0	0	3	0	10	74
	松崎町	2	24	102	0	0	1	2	70	16
	西伊豆町	1	23	85	0	0	2	3	59	41
東部	沼津市	42	74	47	0	0	0	48	16	6
	熱海市	140	16	0	0	0	1	29	1	0
	三島市	41	39	0	0	0	0	7	5	0
	富士宮市	1	44	186	0	0	1	0	73	19
	伊東市	121	45	3	0	0	2	22	5	0
	富士市	8	72	77	0	0	3	2	20	6
	御殿場市	6	0	0	0	0	0			
	裾野市	24	11	0	0	0	0	8	4	0
	伊豆市	113	153	56	0	1	13	123	45	6
	伊豆の国市	94	54	3	0	2	0	32	20	3
	函南町	53	14	1	0	0	1	17	3	0
	清水町	11	3	1	0	0	0	4	4	0
	長泉町	20	7	0	0	0	0	0	1	0
	小山町	38	21	0	0	0	0	27	2	0
中部	静岡市葵区	0	9	907	0	0	14	0	20	509
	静岡市駿河区	0	14	160	0	0	0	0	10	24
	静岡市清水区	0	87	411	0	0	26	0	98	89
	島田市	0	2	427	0	0	46	0	0	212
	焼津市	0	9	36	0	0	3	0	9	5
	藤枝市	0	8	405	0	0	36	0	3	146
	牧之原市	0	0	260	0	0	4	0	0	43
	吉田町	0	0	6	0	0	0			
	川根本町	0	0	143	0	0	11	0	0	104
西部	浜松市中区	0	0	143	0	0	0			
	浜松市東区	0	0	20	0	0	0			
	浜松市西区	0	0	201	0	0	0	0	0	3
	浜松市南区	0	0	0	0	0	0			
	浜松市北区	0	0	589	0	0	20	0	0	69
	浜松市浜北区	0	0	57	0	0	1	0	0	4
	浜松市天竜区	1	0	874	0	0	119	0	0	633
	磐田市	0	2	169	0	0	0	0	0	19
	掛川市	5	9	790	0	0	24	0	0	72
	袋井市	0	0	202	0	0	0	0	0	18
	湖西市	0	0	152	0	0	0	0	0	10
	御前崎市	0	0	262	0	0	0	0	0	29
	菊川市	0	0	392	0	0	4	0	0	33
	森町	0	0	320	0	0	17	0	0	92

表25-2 山・崖崩れ危険度ランク別箇所数

(レベル2の地震(元禄型関東地震):市町別)

市町名		急傾斜地危険箇所			地すべり危険箇所			山腹崩壊危険地区		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C
県合計		927	911	7,790	0	9	359	460	638	2,165
賀茂	下田市	7	49	246	0	0	0	2	49	21
	東伊豆町	5	25	20	0	4	3	27	4	2
	河津町	1	28	70	0	0	6	20	43	8
	南伊豆町	0	10	219	0	0	3	0	25	59
	松崎町	2	30	96	0	0	1	6	70	12
	西伊豆町	7	26	76	0	0	2	14	52	37
東部	沼津市	73	67	23	0	0	0	52	16	2
	熱海市	143	13	0	0	0	1	30	0	0
	三島市	53	27	0	0	0	0	11	1	0
	富士宮市	2	62	167	0	0	1	2	77	13
	伊東市	137	31	1	0	1	1	26	1	0
	富士市	13	87	57	0	0	3	16	7	5
	御殿場市	6	0	0	0	0	0			
	裾野市	29	6	0	0	0	0	12	0	0
	伊豆市	184	102	36	0	2	12	144	27	3
	伊豆の国市	118	31	2	0	1	1	36	19	0
	函南町	54	13	1	0	0	1	18	2	0
	清水町	14	1	0	0	0	0	6	2	0
	長泉町	21	6	0	0	0	0	0	1	0
	小山町	38	21	0	0	0	0	27	2	0
中部	静岡市葵区	3	61	852	0	0	14	5	79	445
	静岡市駿河区	2	31	141	0	0	0	0	22	12
	静岡市清水区	6	127	365	0	1	25	6	114	67
	島田市	0	7	422	0	0	46	0	1	211
	焼津市	0	9	36	0	0	3	0	10	4
	藤枝市	0	13	400	0	0	36	0	13	136
	牧之原市	0	6	254	0	0	4	0	1	42
	吉田町	0	0	6	0	0	0			
	川根本町	0	0	143	0	0	11	0	0	104
西部	浜松市中区	0	0	143	0	0	0			
	浜松市東区	0	0	20	0	0	0			
	浜松市西区	0	0	201	0	0	0	0	0	3
	浜松市南区	0	0	0	0	0	0			
	浜松市北区	0	0	589	0	0	20	0	0	69
	浜松市浜北区	0	0	57	0	0	1	0	0	4
	浜松市天竜区	1	0	874	0	0	119	0	0	633
	磐田市	1	1	169	0	0	0	0	0	19
	掛川市	7	14	783	0	0	24	0	0	72
	袋井市	0	0	202	0	0	0	0	0	18
	湖西市	0	0	152	0	0	0	0	0	10
	御前崎市	0	0	262	0	0	0	0	0	29
	菊川市	0	7	385	0	0	4	0	0	33
	森町	0	0	320	0	0	17	0	0	92

表 26-1 津波浸水面積表（東海・東南海・南海地震）

	浸水深 1cm 以上の面積(km <sup>2</sup> )		
		浸水深 1m 以上	浸水深 2m 以上
県内合計	28.6	15.2	9.0
県域に占める割合(%)	0.4	0.2	0.1

市区町名	浸水面積(単位: km <sup>2</sup> )				
	1cm 以上	1m 以上	2m 以上	5m 以上	10m 以上
湖西市	2.2	1.5	1.2	0.1	-
浜松市北区	1.7	0.2	0.0	-	-
浜松市西区	2.7	1.5	1.1	0.1	-
浜松市中区	0.0	-	-	-	-
浜松市南区	1.9	1.2	0.9	0.1	-
浜松市東区	-	-	-	-	-
磐田市	1.3	0.8	0.4	0.0	-
袋井市	0.3	0.3	0.2	-	-
掛川市	0.6	0.4	0.3	0.0	-
菊川市	-	-	-	-	-
御前崎市	2.6	1.4	0.9	0.1	-
牧之原市	2.1	1.3	0.6	0.1	-
吉田町	0.2	0.1	0.0	-	-
焼津市	1.5	0.2	0.0	0.0	0.0
静岡市駿河区	0.5	0.4	0.2	0.0	-
静岡市清水区	2.4	0.6	0.3	0.0	-
富士市	0.3	0.1	0.0	0.0	-
沼津市	2.7	1.9	1.1	0.0	-
伊豆市	0.8	0.6	0.3	0.0	-
西伊豆町	1.2	0.7	0.4	0.0	-
松崎町	0.8	0.4	0.2	0.0	-
南伊豆町	0.8	0.5	0.4	0.0	-
下田市	1.4	0.7	0.4	0.1	-
河津町	0.1	0.1	0.0	-	-
東伊豆町	0.1	0.1	0.0	-	-
伊東市	0.2	0.1	0.0	-	-
熱海市	0.1	0.0	0.0	-	-

表 2 6 - 2 津波浸水面積表 (南海トラフ巨大地震 ケース①)

	浸水深 1cm 以上の面積(km <sup>2</sup> )		
		浸水深 1m 以上	浸水深 2m 以上
県内合計	158.0	105.6	68.9
県域に占める割合(%)	2.0	1.4	0.9

市区町名	浸水面積 (単位: km <sup>2</sup> )				
	1cm 以上	1m 以上	2m 以上	5m 以上	10m 以上
湖西市	8.5	7.7	6.4	2.9	0.8
浜松市北区	1.9	0.4	0.0	-	-
浜松市西区	14.8	9.3	6.2	1.8	0.7
浜松市中区	1.8	0.4	0.0	-	-
浜松市南区	23.3	13.7	7.2	3.1	0.8
浜松市東区	0.0	-	-	-	-
磐田市	16.0	7.8	4.8	1.3	0.0
袋井市	2.4	0.9	0.7	0.3	-
掛川市	5.5	3.1	1.6	0.6	0.1
菊川市	-	-	-	-	-
御前崎市	9.8	8.2	6.9	3.8	0.7
牧之原市	10.8	9.0	7.4	3.4	0.2
吉田町	6.5	4.8	2.6	0.2	-
焼津市	13.7	7.4	2.5	0.2	0.0
静岡市駿河区	3.9	1.7	0.9	0.3	0.0
静岡市清水区	13.2	10.1	5.3	0.3	0.0
富士市	2.1	0.7	0.3	0.0	-
沼津市	7.4	5.6	3.2	0.8	0.0
伊豆市	1.2	1.1	1.0	0.3	-
西伊豆町	2.5	2.3	2.1	0.9	0.0
松崎町	2.1	1.9	1.7	0.4	0.1
南伊豆町	3.3	2.9	2.5	1.9	0.6
下田市	4.8	4.4	4.0	3.1	1.1
河津町	0.7	0.6	0.5	0.2	0.0
東伊豆町	0.7	0.6	0.5	0.2	0.0
伊東市	0.7	0.5	0.3	0.0	-
熱海市	0.5	0.3	0.1	0.0	-

表 2 6 - 3 津波浸水面積表 (南海トラフ巨大地震 ケース⑥)

	浸水深 1cm 以上の面積(km <sup>2</sup> )		
		浸水深 1m 以上	浸水深 2m 以上
県内合計	157.1	104.3	68.9
県域に占める割合(%)	2.0	1.3	0.9

市区町名	浸水面積 (単位: km <sup>2</sup> )				
	1cm 以上	1m 以上	2m 以上	5m 以上	10m 以上
湖西市	8.6	7.8	6.8	3.1	0.9
浜松市北区	1.9	0.4	0.0	-	-
浜松市西区	14.8	9.3	6.3	1.8	0.8
浜松市中区	1.7	0.3	0.0	-	-
浜松市南区	22.6	12.6	6.7	3.0	0.7
浜松市東区	0.0	-	-	-	-
磐田市	15.8	7.7	4.7	1.3	0.0
袋井市	2.5	0.9	0.7	0.3	-
掛川市	5.5	3.2	1.6	0.6	0.1
菊川市	-	-	-	-	-
御前崎市	9.8	8.2	7.0	3.8	0.8
牧之原市	10.8	9.0	7.4	3.4	0.2
吉田町	6.5	4.8	2.6	0.2	-
焼津市	13.7	7.5	2.6	0.2	0.0
静岡市駿河区	3.6	1.6	0.8	0.3	0.0
静岡市清水区	13.3	10.1	5.3	0.3	0.0
富士市	2.1	0.7	0.3	0.0	-
沼津市	7.4	5.6	3.2	0.8	0.0
伊豆市	1.2	1.1	1.0	0.3	-
西伊豆町	2.5	2.3	2.1	0.9	0.0
松崎町	2.1	1.9	1.6	0.4	0.1
南伊豆町	3.3	2.9	2.5	1.9	0.6
下田市	4.8	4.4	4.0	3.1	1.2
河津町	0.7	0.6	0.5	0.2	0.0
東伊豆町	0.7	0.6	0.5	0.2	0.0
伊東市	0.7	0.5	0.3	0.0	-
熱海市	0.5	0.3	0.1	0.0	-

表 26-4 津波浸水面積表（南海トラフ巨大地震 ケース⑧）

	浸水深 1cm 以上の面積(km <sup>2</sup> )		
		浸水深 1m 以上	浸水深 2m 以上
県内合計	137.2	90.7	59.3
県域に占める割合(%)	1.8	1.2	0.8

市区町名	浸水面積(単位: km <sup>2</sup> )				
	1cm 以上	1m 以上	2m 以上	5m 以上	10m 以上
湖西市	7.7	5.7	4.3	1.4	0.3
浜松市北区	1.7	0.1	0.0	-	-
浜松市西区	11.7	6.4	3.1	1.6	0.1
浜松市中区	0.5	0.0	0.0	-	-
浜松市南区	16.7	8.0	4.4	2.4	0.3
浜松市東区	-	-	-	-	-
磐田市	9.7	5.3	2.9	0.7	0.0
袋井市	1.6	0.7	0.6	0.3	-
掛川市	3.9	1.9	1.0	0.5	0.0
菊川市	-	-	-	-	-
御前崎市	8.9	7.6	6.7	3.8	0.7
牧之原市	10.7	8.9	7.4	3.3	0.1
吉田町	5.9	4.0	2.0	0.2	-
焼津市	14.2	8.2	2.8	0.2	0.0
静岡市駿河区	3.4	1.4	0.8	0.3	0.0
静岡市清水区	13.8	10.8	6.4	0.3	0.0
富士市	2.4	0.7	0.3	0.0	-
沼津市	7.6	5.9	3.5	0.9	0.0
伊豆市	1.2	1.1	1.0	0.3	0.0
西伊豆町	2.5	2.3	2.1	0.9	0.0
松崎町	2.0	1.8	1.5	0.4	0.1
南伊豆町	3.4	3.1	2.7	2.1	0.8
下田市	5.0	4.6	4.2	3.3	1.3
河津町	0.7	0.6	0.5	0.2	0.0
東伊豆町	0.7	0.7	0.5	0.2	0.0
伊東市	0.8	0.5	0.4	0.1	-
熱海市	0.5	0.3	0.1	0.0	-



表 2 7 - 1 津波浸水深別浸水面積（大正型関東地震）（県計）

	浸水深 1cm 以上の面積(km <sup>2</sup> )		
		浸水深 1m 以上	浸水深 2m 以上
県内合計	7.3	2.6	1.2
県域に占める割合(%)	0.1	0.1 未満	0.1 未満

市区町名	浸水面積(単位: km <sup>2</sup> )				
	1cm 以上	1m 以上	2m 以上	5m 以上	10m 以上
熱海市	1.0	0.7	0.4	0.0	-
伊東市	1.1	0.7	0.4	0.0	-
東伊豆町	0.2	0.1	0.0	-	-
河津町	0.1	0.1	0.0	-	-
下田市	0.7	0.4	0.2	-	-
南伊豆町	0.3	0.1	0.0	-	-
松崎町	0.0	0.0	0.0	-	-
西伊豆町	0.1	0.0	-	-	-
伊豆市	0.0	0.0	-	-	-
沼津市	0.2	0.1	0.0	-	-
富士市	0.1	0.0	0.0	-	-
静岡市清水区	0.7	0.0	0.0	-	-
静岡市駿河区	0.2	0.0	-	-	-
焼津市	0.1	0.0	0.0	-	-
吉田町	0.1	0.0	0.0	-	-
牧之原市	0.4	0.1	0.0	-	-
御前崎市	0.5	0.1	0.0	-	-
菊川市	-	-	-	-	-
掛川市	0.1	0.0	0.0	-	-
袋井市	0.0	0.0	-	-	-
磐田市	0.1	0.0	-	-	-
東区	-	-	-	-	-
南区	0.1	0.0	0.0	-	-
中区	-	-	-	-	-
西区	0.4	0.0	0.0	-	-
北区	0.2	0.0	0.0	-	-
湖西市	0.5	0.1	0.0	-	-

表 27-2 津波浸水深別浸水面積（元禄型関東地震）（県計）

	浸水深 1cm 以上の面積(km <sup>2</sup> )		
	浸水深 1m 以上	浸水深 2m 以上	
県内合計	22.3	10.0	4.7
県域に占める割合(%)	0.3	0.1	0.1

市区町名	浸水面積(単位: km <sup>2</sup> )				
	1cm 以上	1m 以上	2m 以上	5m 以上	10m 以上
熱海市	1.2	1.0	0.7	0.1	-
伊東市	1.5	1.1	0.7	0.1	-
東伊豆町	0.3	0.2	0.1	0.0	-
河津町	0.3	0.2	0.1	0.0	-
下田市	1.7	1.0	0.6	0.1	-
南伊豆町	1.2	0.9	0.5	0.1	-
松崎町	0.2	0.1	0.0	-	-
西伊豆町	0.2	0.1	0.0	-	-
伊豆市	0.1	0.0	0.0	-	-
沼津市	1.0	0.2	0.0	0.0	-
富士市	0.2	0.0	0.0	-	-
静岡市清水区	4.1	0.6	0.1	0.0	-
静岡市駿河区	0.5	0.3	0.1	0.0	-
焼津市	0.6	0.1	0.0	0.0	-
吉田町	0.3	0.1	0.0	-	-
牧之原市	1.4	0.7	0.4	0.0	-
御前崎市	2.2	1.2	0.5	0.0	-
菊川市	-	-	-	-	-
掛川市	0.5	0.3	0.1	-	-
袋井市	0.3	0.2	0.0	-	-
磐田市	0.5	0.2	0.0	0.0	-
東区	-	-	-	-	-
南区	0.4	0.2	0.0	-	-
中区	0.0	-	-	-	-
西区	1.3	0.4	0.1	0.0	-
北区	1.0	0.0	0.0	-	-
湖西市	1.5	1.0	0.5	0.0	-

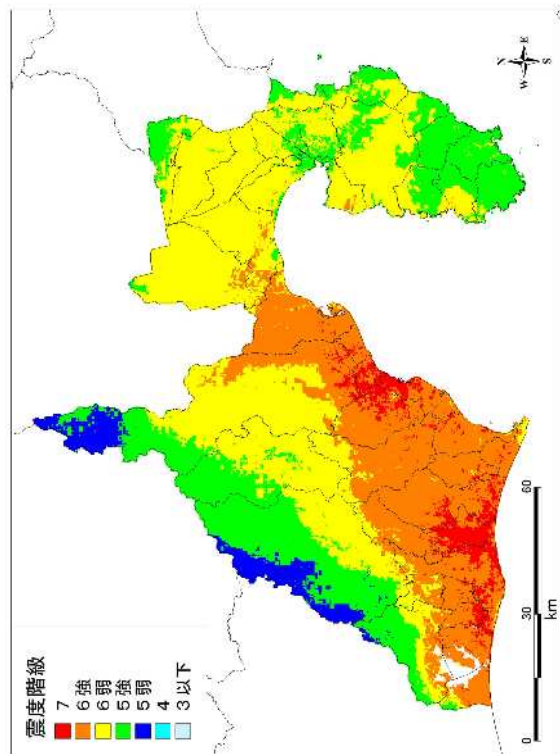


図 1-1 震度分布図 (東海・東南海・南海地震)

(注) 内閣府(2012)の南海トラフ巨大地震の基本ケースの強震断層モデルを用いて計算したものの。

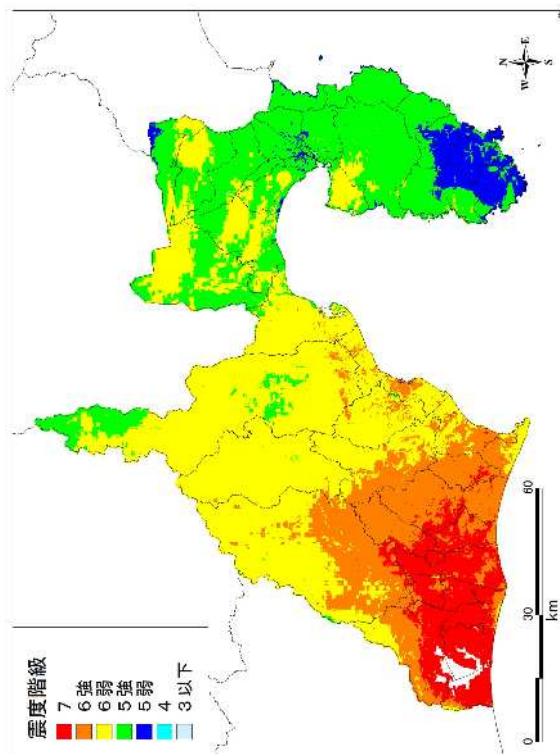


図 1-3 震度分布図 (南海トラフ巨大地震 (陸側ケース))

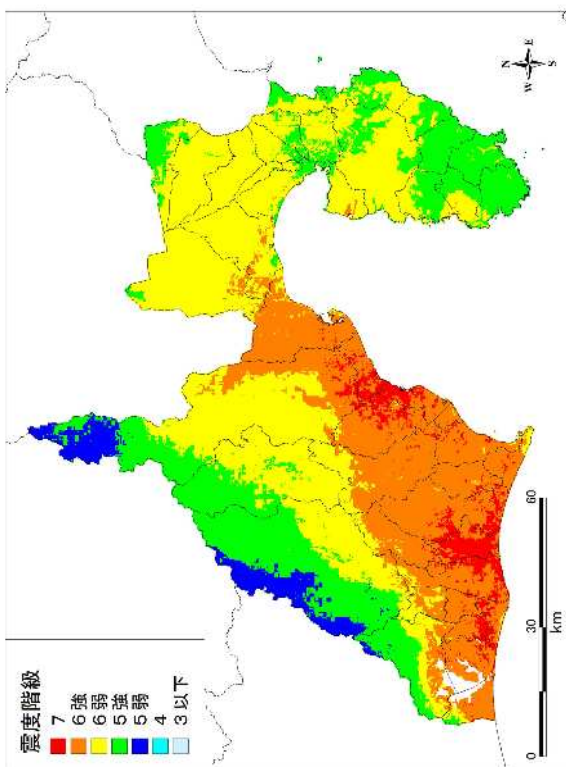


図 1-2 震度分布図 (南海トラフ巨大地震 (基本ケース))

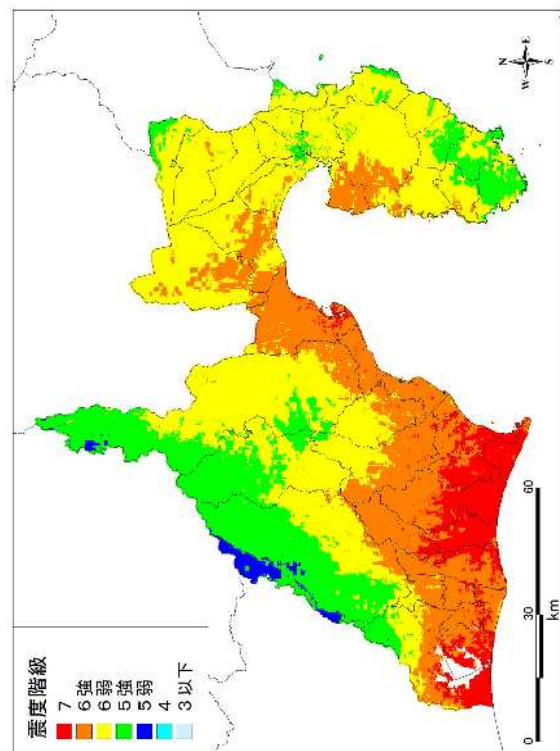


図 1-4 震度分布図 (南海トラフ巨大地震 (東側ケース))

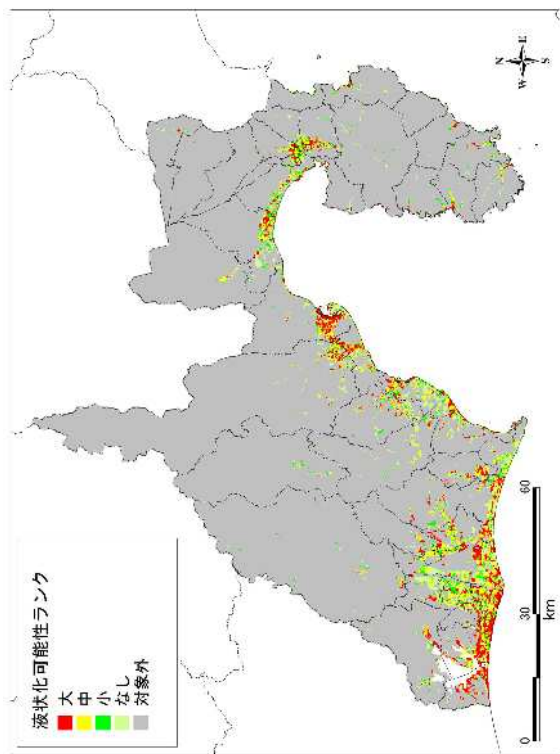


図 2-1 液状化可能性 (東海・東南海・南海地震)

(注) 内閣府(2012)の南海トラフ巨大地震の基本ケースの強震断層モデルを用いて計算したもの。

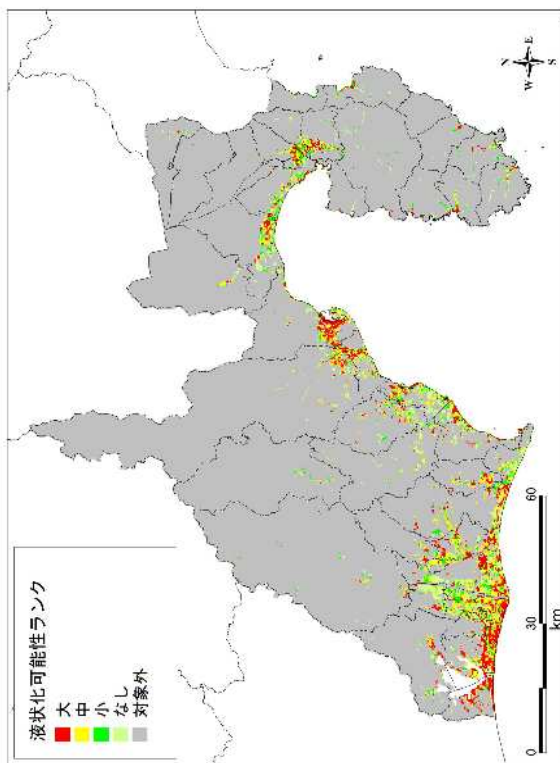


図 2-2 液状化可能性 (南海トラフ巨大地震(基本ケース))

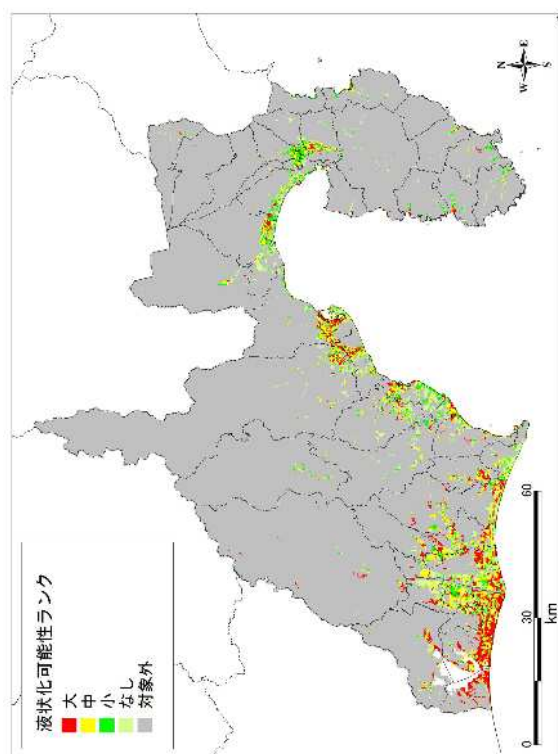


図 2-3 液状化可能性 (南海トラフ巨大地震(陸側ケース))

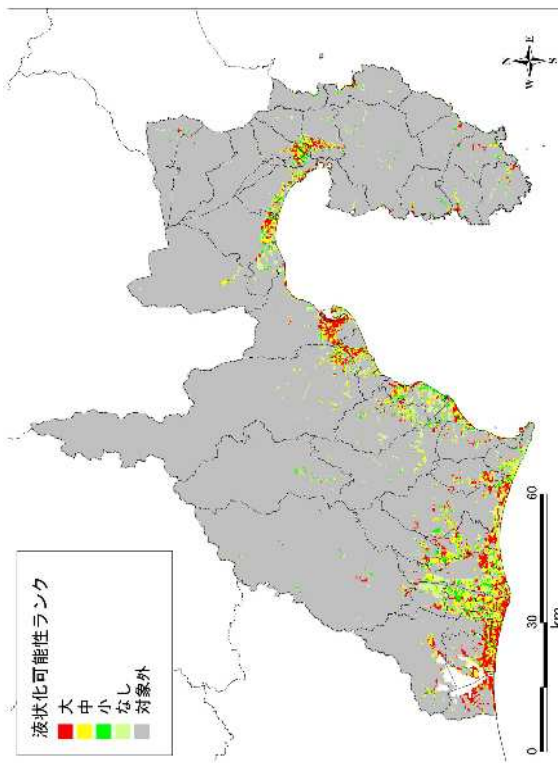


図 2-4 液状化可能性 (南海トラフ巨大地震(東側ケース))



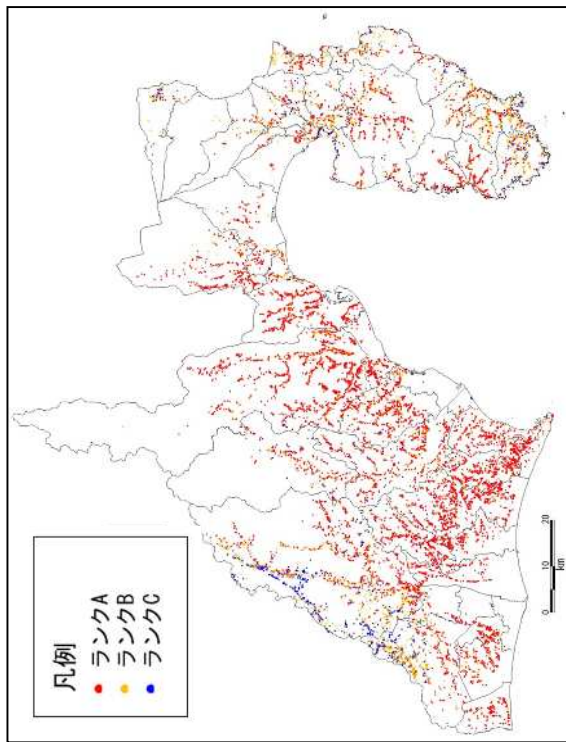


図3-1 レベル1の地震（東海・東南海・南海地震）で想定される危険度ランク

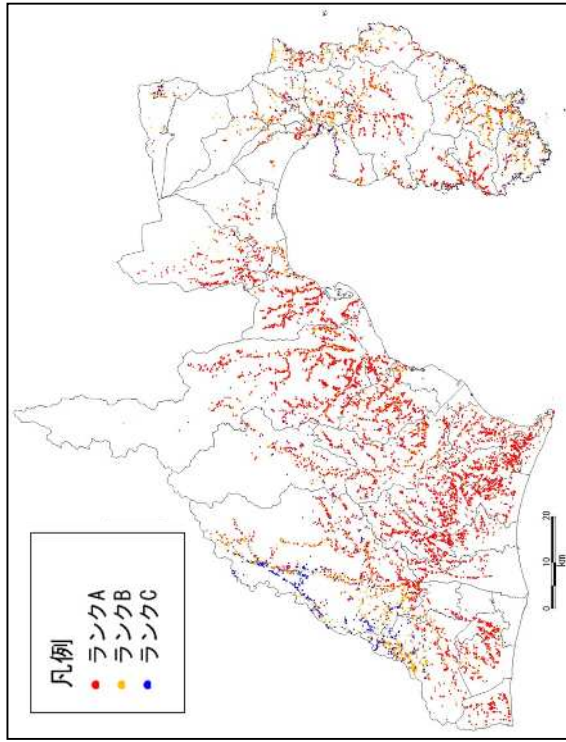


図3-2 レベル2の地震（南海トラフ巨大地震基本ケース）で想定される危険度ランク

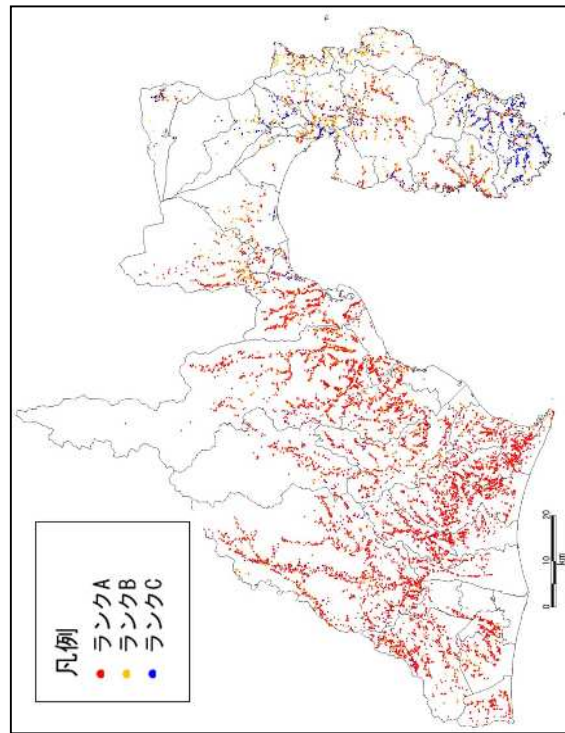


図3-3 レベル2の地震（南海トラフ巨大地震陸側ケース）で想定される危険度ランク

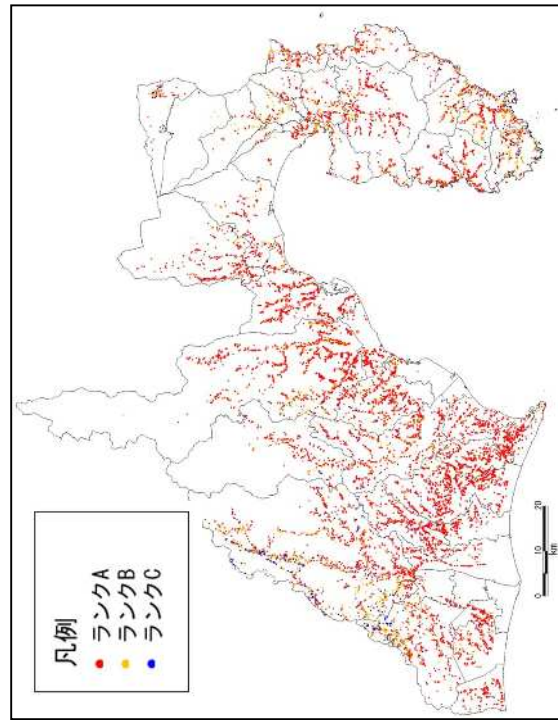


図3-4 レベル2の地震（南海トラフ巨大地震東側ケース）で想定される危険度ランク

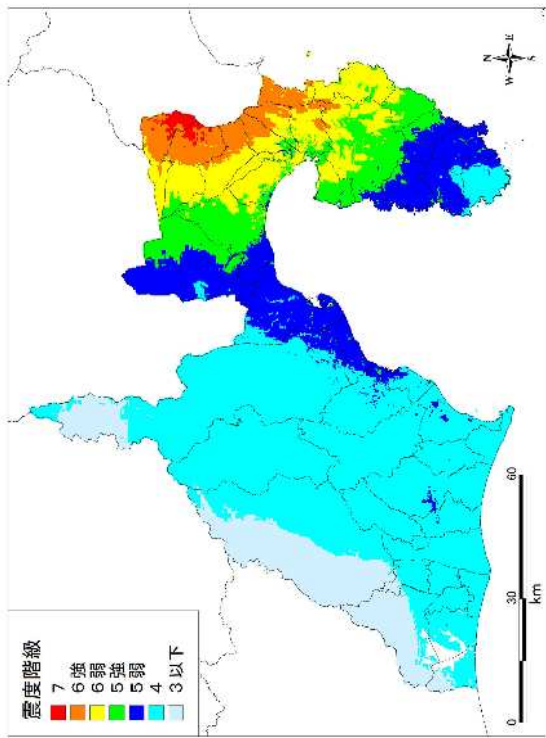


図4-1 震度分布図（大正型関東地震）

図5-1 液状化可能性（大正型関東地震）

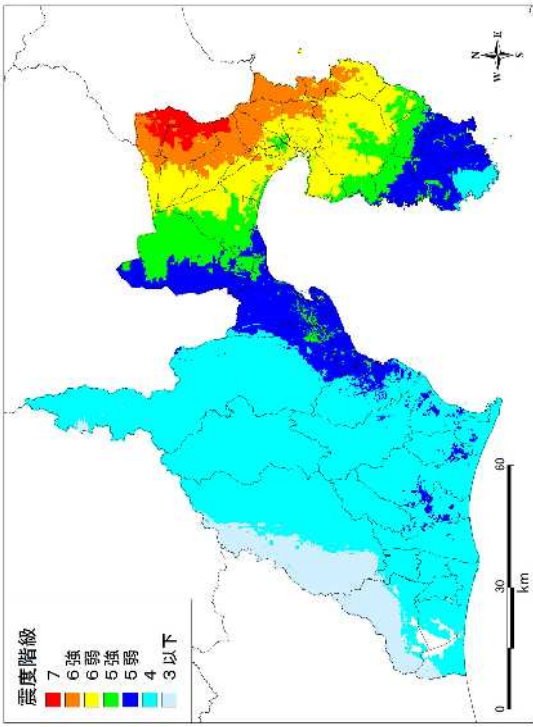
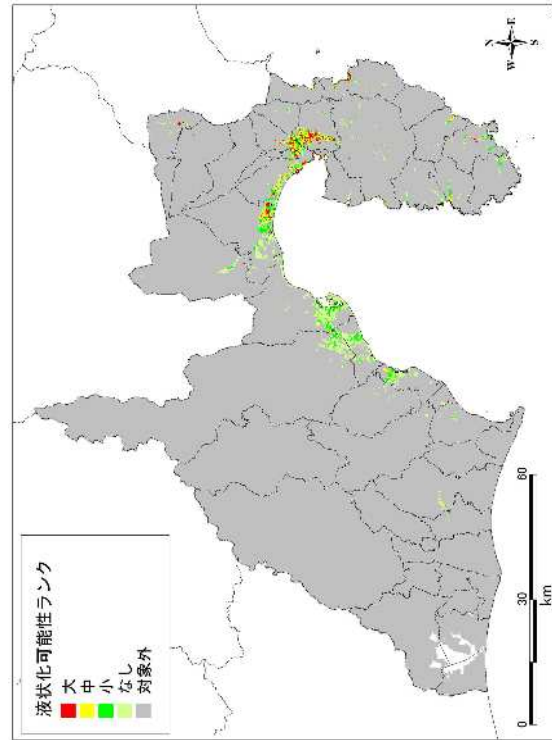
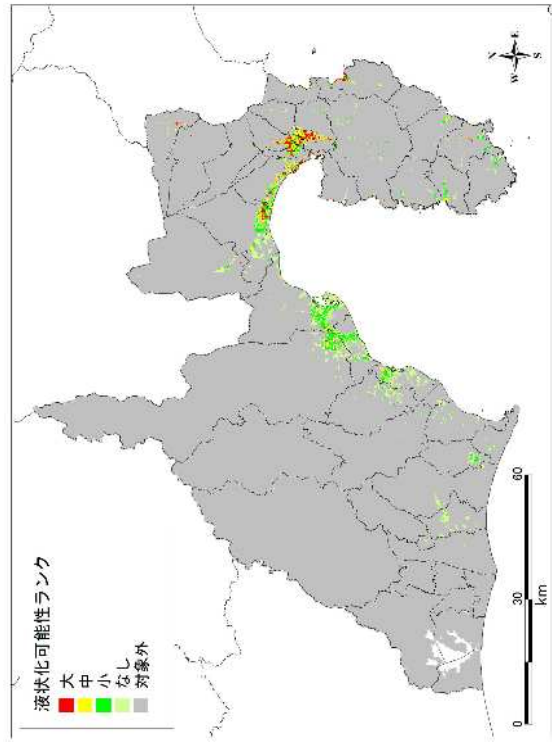


図4-2 震度分布図（元禄型関東地震）

図5-2 液状化可能性（元禄型関東地震）



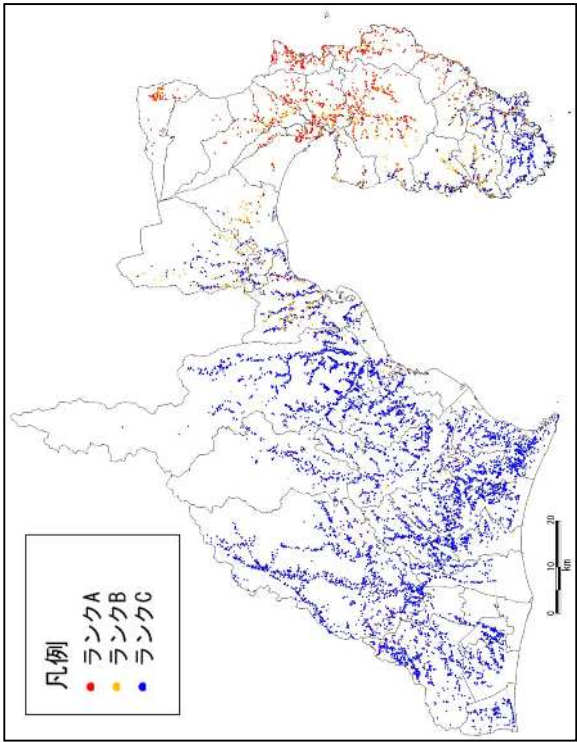


図 6-1 レベル1の地震（大正型関東地震）で想定される  
危険度ランク

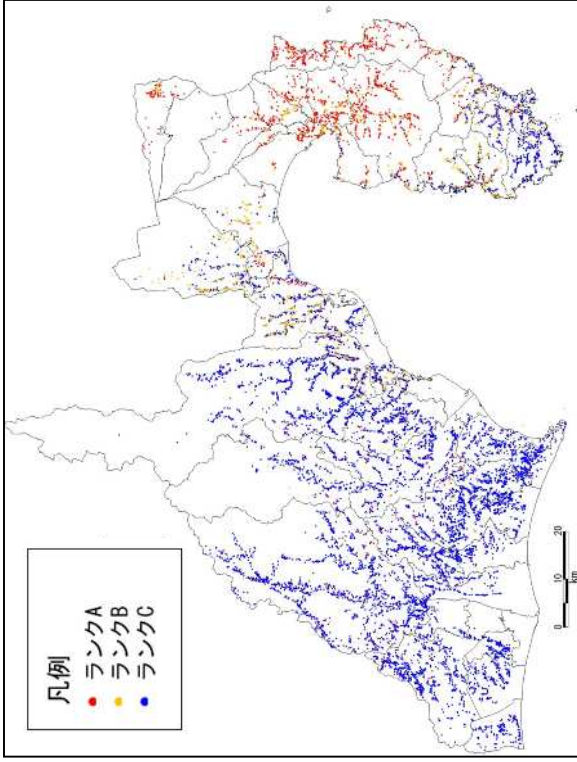


図 6-2 レベル2の地震（元禄型関東地震）で想定される  
危険度ランク

静岡県第4次地震被害想定関連ホームページ

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/4higaisoutei/>